

令和 7 年 度

事業別決算説明

一般会計 歳出の状況

文教経済常任委員会関係

文化観光部

○事業別決算説明について

1 上段の表中の表示について

- (1) 執行額、翌年度繰越額、執行残額は、単位未満の数値（四捨五入してゼロとなる500 円未満の数値）がある場合は「0」（ゼロ）を表記し、該当数値のない場合は「-」（ハイフン）を表記しています。
- (2) 執行額の財源内訳欄及び執行残額の内訳欄は、単位未満の数値（四捨五入してゼロとなる500 円未満の数値）がある場合は「0」（ゼロ）を表記し、該当数値のない場合は見易さを考慮し空白としています。
- (3) 個々の数字は、表示単位で四捨五入しています。また、財源内訳欄は、それぞれの数値を表示単位で四捨五入し全体額との調整を一般財源欄で行っています。
- (4) 執行額、執行残額は、それぞれ決算書の支出済額、不用額を表しています。

2 執行残額について

執行残額については、大きく 4 つの理由に分けて金額を表示するとともに、具体的な内容を【執行残額について】に記載しています。

なお、原則として千円単位の表記となっていますが、執行残額が「0」の場合（単位未満の数値がある）は、円単位で表記しています。

※令和 7 年度事業が令和 8 年度に複数の課に分割された場合は、令和 8 年度所管課分の数値を記載し、下段【 】書きで令和 7 年度事業全体事業費を記載してあります。

事業の概要以降は、令和 8 年度所管課分の事業について作成してあります。

(例) 令和 7 年度事業費(●●課) 48,000 千円



令和 7 年度事業費(令和 8 年度○○○○課) 36,000 千円
令和 7 年度事業費(令和 8 年度△△△課) 12,000 千円

※令和 7 年度と令和 8 年度で所管課名称が変更になった場合、または、課等の名称が変更になった場合は、下記のとおり表現とし、事業を担当する令和 8 年度の所管課が作成してあります。

記入例 : 令和 7 年度は●●課で実施した事業が
令和 8 年度に○○○○課に移管された場合

所管課等	○○○○課 (令和 7 年度所管は●●課)
------	--------------------------

(単位：千円)

決算書 (P ~ P)	款 項 目	所管課等	○○○○課 (令和 7 年度所管は●●課)
事 業 名			

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
36,000 【48,000】						
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	

執行額、翌年度繰越額、執行残額の欄は、次のとおり
単位未満の数値あり : 「0」 (ゼロ)
該当数値なし : 「-」 (ハイフン)

財源内訳、内訳の欄は、次のとおり
単位未満の数値あり : 「0」 (ゼロ)
該当数値なし : 空白

地域独自の予算事業の決算説明は、本冊子では事業名、地域自治区、決算額のみ記載しています。実施内容等については、別冊の議会資料に記載しています。

(単位：千円)

決算書 (P126～P127)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
459,393	450,858			281,200		169,658
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	8,535			8,480		55

【目的】

市民が気軽に文化・芸術に触れる機会や文化活動の発表の場を提供し、文化・芸術への関心を高めるとともに、主体的な文化・芸術活動を育むことで、文化の振興を図る。

令和7年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和7年度目標

入館者数：70,000人

○実施内容、これまでの経過等

・指定管理の状況

導入開始年度：平成17年度

指定期間：令和7年度～令和11年度（5年間）

指定管理者名：株式会社 NKS コーポレーション（本社：新潟市）

・芸術文化事業の内容

(単位：人)

区分	事業名	入場(参加)者数
鑑賞事業	南こうせつコンサートツアー2025 ～神田川～	1,443
	清塚信也 with N響メンバー ～カラフル・ミュージック・ツアー2025～	1,500
	NHK 新・BS日本のうた	1,500
	→P i a - n o - j a C ← ピアノジャック スペシャルライブ	140
	椎名豊 Inspired Swing Special Edition 2025	289
	バリアフリー演劇「TOUCH」 ～孤独から愛へ～	122
	SLENDERIE RECORD ファミリーコンサート 2025	878
	石川さゆり ～プレミアム・アコースティック・コンサート～	1,907
	ゴスペラーズ 坂ツアー2025 “G30”	1,450
	ケイコ・リー クラブツアー “DUO”	73
	小林海都 ピアノリサイタル	194
	ベルリン・レゾナンス・アンサンブル	341

決算書 (P126～P127)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

区分	事業名	入場(参加)者数
鑑賞事業	劇団四季 ミュージカル 「赤毛のアン」	1,293
	BABY SHARK LIVE!	1,732
	GRAVITY SANCTUARYー星詠みの祈りー	215
	オーケストラ・アンサンブル金沢 上越公演	653
	ハラミちゃん ファミリーコンサート 2025	541
	寛平GMプロデュース公演 喜劇出前ツアー 2025	1,490
	アンパンマンミュージカル「おもちゃの国とみんなのたからもの」	2,547
	お笑いライブ 2025 i n上越	483
	松山千春コンサートツアー2025 秋	1,314
	落語三人会 ～林家正蔵・はな平・つる子	176
	ジェイコブ・コーラー ピアノリサイタル	374
	2025 森高千里コンサートツアー “あなたも私もファイト!!”	1,279
	BUN BUN PARADE 2025ー音楽フェス、はじめます。	743
	第3回上越演芸大全	486
	スモールコンパクトパフォーマンス	
	城南海 (ボーカル) & 扇谷研人 (ピアノ)	158
	小野リサ (ギター) w i t h 宮本貴奈 (ピアノ)	296
	牧山純子クラシカルトリオ (ヴァイオリン、ピアノ、チェロ)	94
	榊原大&妹尾武 (ピアノ)	120
	小 計 30 事業	23,831
普及事業	フラメンコ (三枝雄輔、鈴木眞澄、永瀧三貴生、尾藤大介)	384
	打楽器アンサンブル (倉澤桃子、本間美恵子、藤島玲子)	605
	狂言 (山本則秀、山本則孝、若松隆)	513
	和太鼓 (上田秀一郎)	716
	リコーダーとリュート (吉澤実、永田平八)	384
	落語 (林家はな平)	140
	小 計 6 事業	2,742
創造事業	上越真夏の音楽会	168
	小川未明フェスティバル 2025 「海から来た使い」	109
	第7回上越マーチングバンド コンサート	641
	上越シニア劇団 定期公演	251
	小 計 4 事業	1,169
育成事業	上越マーチングバンド育成事業	1,059
	上越シニア劇団活動事業	326
	牧阿佐美バレエ団 ワークショップ	36
	上越文化会館ロビーコンサート	112
	小 計 4 事業	1,533
合計	44 事業	29,275

※ 鑑賞事業：多様な市民ニーズを捉えた質の高い芸術作品を招へいする事業

※ 普及事業：アーティストが町内会や小・中学校に出向いて演奏等を行うアウトリーチ事業

※ 創造事業：新たな文化・芸術活動を創り出す市民参加型の事業

※ 育成事業：マーチングバンドや劇団活動などを通して、市民の文化意識の向上を図る事業

決算書 (P126～P127)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数等

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			計 画	実 績
利用件数	964 件	1,027 件	-	887 件
利用者数	63,867 人	80,723 人	70,000 人	92,972 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
				予算現額	実 績
①収入	国庫支出金	-	-	-	-
	市債	-	5,200	290,800	281,200
	諸収入	-	-	-	-
	合計	-	5,200	290,800	281,200
②支出	上越文化会館管理運営委託料	68,208	68,208	78,968	78,968
	施設管理委託料	852	660	426	411
	調査業務委託料	-	-	1,111	1,089
	報酬	34	115	65	60
	費用弁償	1	2	2	1
	修繕料	2,812	1,765	1,100	1,051
	施設整備工事	5,876	8,874	377,713	369,270
	備品購入費	2,090	209	-	-
	エネルギー価格高騰補填金 ※1	883	1,650	-	-
	令和6年能登半島地震損害補填金 ※2	48	-	-	-
	その他	42	239	8	8
	合計	80,846	81,722	459,393	450,858
③公費投入額(②-①)		80,846	76,522	168,593	169,658
④利用者1人当たりの公費投入額(単位:円)		1,266	948	2,408	1,825

- ※1 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの
- ※2 令和6年能登半島地震の影響による損害の協議申し入れがあった指定管理施設について、損害額を算定し補填したもの

決算書 (P126～P127)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
				計 画	実 績
収 入	利用料金収入	10,723	11,010	7,000	13,062
	上越文化会館管理運営委託料	68,208	68,208	78,968	78,968
	補助金・助成金	5,260	1,004	0	※ 4,258
	エネルギー価格高騰補填金	883	1,650	-	-
	令和6年能登半島地震損害補填金	48	-	-	-
	その他(入場料等)	21,490	44,963	48,685	49,369
	収 入 計 ①	106,612	126,835	134,653	145,657
支 出 ②		104,978	134,341	134,653	137,406
差 引 (①-②)		1,634	△7,506	0	8,251

※ 文化庁「劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」(対象事業：バリアフリー演劇「TOUCH」～孤独から愛へ～、第3回上越演芸大全ほか4事業)、独立行政法人 日本芸術文化振興会「芸術文化振興基金」(対象事業：上越シニア劇団)

○目標達成状況

入館者数は92,972人(目標70,000人：達成率132.8%)となり、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・鑑賞事業では、幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象としたミュージカルやコンサート、演芸など、優れた舞台芸術作品の鑑賞機会を提供し、文化の振興を図った。
- ・普及事業では、アーティストが小・中学校や町内会へ出向いて公演を行う「アウトリーチ事業」を6事業18か所でプロの実演を気軽に鑑賞する機会を提供し、文化・芸術への関心を高めた。
- ・創造事業では、未明童話「海から来た使い」をテーマに「小川未明フェスティバル2025」を開催し、小学生による読書感想文の発表や、市民による朗読劇、市民コーラス団体による創作合唱等を行い、郷土の偉人を顕彰する場とした。
- ・育成事業では、マーチングバンドや劇団活動を通して、市民の文化意識の向上を図ったほか、市民が気軽にコンサートを開催できる機会を提供するため、「上越文化会館ロビーコンサート」と題して、1階ロビーを無料で開放し、1団体から利用を得て、利用者及び入館者から好評を得た。
- ・大ホールの照明LED化工事を行うとともに、視覚障害者誘導用ブロック及びオストメイト用トイレ設備の設置、中ホール男子トイレの改修を行い、利用者の利便性を向上させた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・入館者数を増やすため、引き続き、来館者のアンケート結果や他館の公演状況をリサーチし、多様なジャンルの事業を企画するよう、指定管理者との連携を密にする。
- ・建物や機械設備等の老朽化が進んでいることから、計画的に改修を進め、安全で利用しやすい環境を整える。

決算書 (P126～P127)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

【執行残額について】

入札差金：施設管理委託料、調査業務委託料、施設改修工事 8,480

その他：委員報酬、費用弁償、消耗品費、営繕修繕料、手数料が当初見込みを下回ったこと
による執行残 55

(単位：千円)

決算書 (P130～P131)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源活用推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
7,311	7,067					7,067
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	244					244

【目的】

市民による歴史資源の魅力をいかしたまちづくりを推進するため、歴史的建造物の保存や活用を通じて、地域に対する誇りと愛着の涵養を図るとともに、地域の活性化と文化の振興を図る。

令和 7 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

歴史資源を活用した街なか回遊の促進と賑わいの創出 365

○令和 7 年度目標

貴重な歴史資源への関心を高め、観光客等の街なか回遊を促進する。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 民間や市が所有する町家の情報発信

町家の魅力を広く発信するため、歴史や特徴を紹介するパンフレットを増刷するとともに、見学可能な町家の情報を市ホームページに掲載し、観光客等への情報発信に努めた。

(2) 市民団体と協力した街なか回遊の促進

高田城址公園で開催される観桜会や観蓮会に合わせ、市民団体と連携し、町家交流館高田小町において「町家ガイド」による雁木と町家の特徴等を解説することにより、地域の歴史や文化の魅力を発信した。

3 月 8 日の「町家の日」においても同様の取組を行うとともに、市民団体と協働した町家を巡るスタンプラリーを実施し、観光客等の街なか回遊を図った。

○目標達成状況

高田地区の歴史資源である雁木と町家に関する情報を発信し、訪れた人々に街なかを回遊してもらうことで、街なかの賑わい創出に寄与した。

歴史的旧家連携交流支援事業 100

○令和 7 年度目標

市内に点在する歴史的旧家への関心を高めるとともに、地域資源の継続的な発信と活用に向けた取組を支援し、交流人口の拡大を促進する。

決算書 (P130～P131)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源活用推進事業		

○実施内容、これまでの経過等

歴史的旧家 4 邸への来訪者の増加を図るため、「NPO 法人上越名家ネットワーク」に補助金を交付し、観光分野の有識者による講演会を通じた各邸の魅力向上を支援した。

○目標達成状況

市の補助金を活用した講演会を開催し、他の観光地における誘客の要因や現代の観光需要に関する知見が共有され、各邸の魅力向上に向けた意識醸成が図られた。歴史的旧家 4 邸においては、一斉公開に合わせて新たに写真撮影スポットを設置するなどの取組が行われ、SNS 等を活用した情報発信の強化につながった。

雁木整備事業補助金の交付 2,485

○令和 7 年度目標

市民への経済的支援を行うことにより、雁木を保存する。

○実施内容、これまでの経過等

- (1) 指定地区における雁木の新築・修繕、雁木下通路の段差解消工事に対して補助金を交付した。
- (2) 令和 5 年度から新潟県空き家利活用支援事業を活用し、県外転入者及び子育て世帯を対象とした補助金加算額を設けた。※利用実績なし
＜令和 7 年度末までの地域指定及び補助金の交付状況＞

年 度	地域指定		補助金交付	
	地域数	指定距離 (m)	件数 (件)	金額
平成 16 年度～令和 6 年度	26	10,774	170	65,671
令和 7 年度	1	205	5	2,485
			内訳 新 築 1[4.1m] 修 繕 4[23.2m]	
合計	27	10,979	175	68,156

○目標達成状況

申請者（5 件）に補助金を交付し、市民による雁木の保存を支援した。

地域独自の予算事業 1,378

- ・風鈴街道 in 雁木 2025 開催事業（高田区）（206）
- ・高田世界館と高田の雁木町家 P R 事業（高田区）（323）
- ・地域資源を活かした高田まちづくり事業（高田区）（674）
- ・「頸城の名建築 白田邸 建築講座&見学会」事業（頸城区）（175）

その他 2,739

- ・歴史資源活用推進事業を実施するための報酬、共済費、旅費ほかの事務費

決算書 (P130～P131)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源活用推進事業		

【事業の成果】

- ・市民団体等と連携して、雁木と町家、歴史的旧家の魅力を市内外に発信し、歴史資源を活用した誘客と回遊を促進することができた。
- ・雁木整備事業補助金の交付により、市民による雁木の保全につなげることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

市民団体等と連携しながら、市内に残る貴重な歴史資源である雁木の保全と町家、歴史的旧家の活用に向けた取組の継続が必要である。

【執行残額について】

そ の 他：雁木整備事業補助金の交付額が当初見込みを下回ったことによる執行残 98
 地域独自の予算事業補助金の執行残 75
 会計年度任用職員費用弁償等が当初見込みを下回ったことによる執行残 71

(単位：千円)

決算書 (P130～P133)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化振興企画費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
12,620	12,010				120 (諸収入)	11,890
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	610		56	5		549

【目的】

当市の文化振興に資するため、市民が気軽に文化、芸術に親しめる環境づくりを進めるとともに、市民参加が可能な文化事業の充実を図る。

令和 7 年 度 の 取 組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

市民の文化活動推進事業、その他一般事務費 3,849

○令和7年度目標

市民の文化・芸術活動を発信することにより、活動団体の活性化を図り、文化・芸術に対する市民の関心を高める。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 文化振興に関する情報の収集及び提供

市民の自主的な文化・芸術活動を支援するため、国・県などが行う各種助成事業について、市ホームページや文化・芸術活動団体が集う機会等を通じて情報提供を行った。

(2) 上越まるごと文化祭

市内各地で開催される多彩な文化・芸術のイベント情報を市ホームページに掲載し、市内外に発信するとともに、高い技術力や表現力を有する文化・芸術団体による上質なパフォーマンスを披露・鑑賞できる「プレミアムパフォーマンス」を開催した。

期 日：10月19日（日）

会 場：上越文化会館 大ホール

参加者数：536人（鑑賞者407人、出演者7組129人）

○目標達成状況

- ・上越まるごと文化祭として市内各地で開催される市民の文化・芸術活動を紹介するとともに、「プレミアムパフォーマンス」を開催し、和太鼓やジャズダンス、民俗芸能など多様なジャンルの個人や団体からパフォーマンスを披露いただくことで、文化・芸術活動に対する関心を高めることができた。

決算書 (P 130～P 133)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化振興企画費		

地域の偉人の顕彰や文化的資源の保存と継承 1,366

○令和 7 年度目標

郷土の偉人を顕彰する団体と連携し、地域の歴史的・文化的資源を広く発信する。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 郷土の偉人顕彰事業

郷土の偉人の顕彰活動団体の取組を支援するため、令和 7 年度は生誕 190 年を迎えた郵便の父・前島密をはじめ、小川未明や小山作之助を顕彰する市民団体に対し、「郷土の偉人顕彰事業交付金」を交付した。

また、顕彰活動団体と連携し、顕彰活動の発展・活性化に努めた。

(2) 高田瞽女顕彰事業

① 高田瞽女ゆかりの地を巡るバスツアー

高田瞽女の顕彰活動に取り組む市民団体と連携し、高田瞽女ゆかりの地を巡るバスツアーの実施を支援し、市民等が高田瞽女の歴史や文化に触れる機会を提供した。

期 日：6 月 8 日（日）

テ ー マ：高田瞽女・西頸城の旅（西頸城・糸魚川方面）

参加者数：42 人（市内 24 人、市外 18 人）

② 瞽女唄 CD の制作・販売

平成 3 年度に市が制作した瞽女唄 CD の音源を使用して新たに CD を 50 セット制作し、市民等に販売した。

○目標達成状況

郷土の偉人や高田瞽女の顕彰活動に取り組む市民団体と連携し、地域の歴史的・文化的資源を市民等に広く発信することができた。

地域独自の予算事業 6,795

- ・高田の歴史文化を題材にした紙芝居の制作と朗読会開催事業（高田区）（150）
- ・北部地区の文化・賑わいを創出する事業（高田区）（470）
- ・第 4 回にいがた水墨画フェスティバル開催事業（高田区）（592）
- ・お馬出しプロジェクト事業（高田区）（285）
- ・高田瞽女の文化の発信事業（高田区）（615）
- ・芳澤謙吉翁顕彰事業（諏訪区）（118）
- ・戸野目・四ヶ所雁木通り活性化支援事業（津有区）（290）
- ・前島密翁生誕の地献碑祭 103 周年事業（津有区）（585）
- ・前島密を主題とした創作劇開催事業（津有区）（280）
- ・第 16 回浦川原和太鼓祭事業（浦川原区）（799）
- ・川上山里の風コンサート事業（牧区）（788）
- ・3 世代交流事業 人魚の塚継承（大潟区）（1,162）
- ・地域に残る伝説の紙芝居作成事業（板倉区）（295）
- ・板倉の文化語り部継承とアーカイヴ事業（板倉区）（366）

決算書 (P130～P133)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化振興企画費		

【事業の成果】

- ・上越まるごと文化祭のホームページに掲載した市内各地の様々な催しに市民が足を運び、活動の様子を体感してもらうことにより、地域が持つ魅力を改めて認識してもらうことができた。また、高い技術力や表現力を持つ上質なパフォーマンスを披露・鑑賞できる「プレミアムパフォーマンス」を開催したことにより、市民に感動を届けるとともに、出演した文化芸術団体等の更なるレベルアップにつなげることができた。
- ・郷土の偉人や高田瞽女の顕彰活動に取り組む市民団体と連携し、地域の歴史的・文化的資源を市民等に広く発信し、顕彰活動の発展・活性化に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・市民の文化・芸術活動への関心を高め、自主的な活動につなげるため、引き続き、発表の場及び鑑賞の機会を提供するとともに、市内各地の文化芸術活動に関する情報の把握と発信に取り組む。
- ・郷土の偉人の顕彰活動をさらに活性化させるため、顕彰に取り組む市民団体に対して、引き続き支援する。

【執行残額について】

事業未実施：地域独自の予算事業（3 世代交流事業 人魚の塚継承）の一部事業未実施による残
56

入札差金：業務委託料 5

その他：会計年度任用職員費用弁償、消耗品費、燃料費等が当初見込みを下回ったことによる
執行残 203

地域独自の予算事業補助金の執行残 346

(単位：千円)

決算書 (P132～P133)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
23,377	18,574				702 (使用料、諸収入)	17,872
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
2,750	2,053	451		164		1,438

【目的】

- 旧師団長官舎の管理運営：市文化財である明治期の洋風建築を適切に維持管理するとともに、特性をいかした施設の活用を通じて、地域のにぎわいを創出する。
- 高田まちかど交流館の管理運営：市文化財である昭和初期の銀行建築を適切に維持管理するとともに、特性をいかした施設の活用を通じて、地域のにぎわいを創出する。
- ライオン像のある館の管理運営：市文化財である明治期の銀行建築を適切に維持管理するとともに、特性をいかした施設の活用を通じて、地域のにぎわいを創出する。
- 旧今井染物屋等の管理運営：市文化財である江戸時代末期の町家建築を適切に維持管理しながら、地域文化の継承と発信及び街なか回遊の拠点として、地域のにぎわいを創出する。

令和 7 年 度 の 取 組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

旧師団長官舎の管理運営 4,445

○令和 7 年度目標

入館者数：9,100 人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 文化財の維持管理と地域文化の振興

市文化財である施設を良好な状態で保存するため、建物や庭園を適切に維持管理するとともに、一般公開を通じて地域文化を発信した。

(2) 民間事業者によるレストランとしての活用

一般公開に加え、令和 3 年度から民間事業者によるレストランとしての活用を継続し、施設の魅力向上を図った。

決算書 (P132～P133)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

○施設の管理実績

・入館者数

		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				計 画	実 績
入館者数		8, 158 人	8, 221 人	9, 100 人	8, 937 人
	うちレストラン利用者	2, 226 人	1, 872 人		1, 632 人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	14	14	16	14
	合計	14	14	16	14
②支出	施設維持管理費	4,293	6,322	4,596	4,445
	うち委託料	2,517	4,783	3,786	3,750
	その他	-	-	-	-
	合計	4,293	6,322	4,596	4,445
③公費投入額 (②-①)		4,279	6,308	4,580	4,431
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		525	767	503	496

○目標達成状況

観桜会や観蓮会期間中は施設見学者が増え、令和 6 年度同時期と比較して入館者数は増加したが、年間を通じてレストラン利用者が減少したことから、入館者数は 8,937 人（目標 9,100 人：達成率 98.2%）となり、目標を達成することができなかった。

高田まちかど交流館の管理運営 4,347

○令和 7 年度目標

入館者数：26,000 人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 施設の管理運営

有限会社高田酒類会館に事務室及び会議室を貸し付けるとともに、施設の管理運営業務を委託した。

(2) 街なか回遊の拠点としての活用

街歩きを行う市民や観光客の見学と休憩に利用されたほか、当館及び商店街で開催される催しや観光に関するパンフレットなどを配置し、街なか回遊のための情報提供を行った。

(3) イベント、文化活動などの場の提供

施設管理受託業者や本町商店街が行うイベント会場のほか、各種コンサートやワークショップ、合唱の練習などの文化活動の場として活用された。

決算書 (P132～P133)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

(4) 「高田まちかどフェスティバル」の開催

バンド演奏や合唱、ダンスなど、市内を中心に活動する個人や団体が出演する「高田まちかどフェスティバル」を年2回開催し、市民が気軽に文化、芸術に触れる場を提供するとともに、街なかのにぎわい創出に取り組んだ。

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
				計 画	実 績
入館者数		30,786 人	26,978 人	26,000 人	37,953 人
うち 貸室利用	利用件数	178 件	271 件		211 件
	利用人数	19,197 人	15,700 人		17,758 人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	419	459	455	535
	その他	1,237	163	163	153
	合計	1,656	622	618	688
②支出	施設維持管理費	6,761	5,141	4,844	4,347
	うち委託料	3,108	2,554	1,912	1,780
	その他	-	-	-	-
	合計	6,761	5,141	4,844	4,347
③公費投入額 (②-①)		5,105	4,519	4,226	3,659
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		166	168	163	96

○目標達成状況

入館者数は37,953人(目標26,000人:達成率146.0%)となり、目標を達成することができた。



市主催イベントの様子
(高田まちかどフェスティバル 2025)



施設管理受託業者等によるイベントの様子
(サカヤノススメ)

決算書 (P132～P133)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

ライオン像のある館の管理運営 2,556

○令和7年度目標

入館者数：6,000 人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 街なか回遊の拠点としての活用

日本遺産北前船に関するパネル展示により、直江津の歴史と文化を発信したほか、地域のまちづくり団体が主体となり、ゴールデンウィーク及び祇園祭に合わせてマルシェが催されるなど、施設の活用が図られた。

(2) イベント、文化活動などの場の提供

文化団体等が行う演奏会やマルシェ、「なおえつうみまちアート」の展示会場の一つとして利用されるなど、施設の利用を通じて直江津の街なかのにぎわい創出に取り組んだ。

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
				計 画	実 績
入館者数		5,986 人	5,961 人	6,000 人	5,564 人
うち 貸室利用	利用件数	51 件	41 件		41 件
	利用人数	4,895 人	4,816 人		4,267 人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
	合計	-	-	-	-
②支出	施設維持管理費	4,419	2,305	2,808	2,556
	うち委託料	1,752	1,737	2,146	1,984
	その他	-	-	-	-
	合計	4,419	2,305	2,808	2,556
③公費投入額 (②－①)		4,419	2,305	2,808	2,556
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位：円)		738	387	468	459

○目標達成状況

「なおえつうみまちアート」等のイベント開催時の利用人数が減少したことから、入館者数は5,564 人（目標 6,000 人：達成率 92.7％）となり、目標を達成することができなかった。

決算書 (P 132～P 133)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		



なおえつうみまちアートの展示の様子
(海辺にレモンの木を植える)



貸館イベントの様子 (マルシェ)

旧今井染物屋等の管理運営 7,226

○令和7年度目標

入館者数：9,300人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 地域文化の継承と発信及び施設の活用促進

- ・地元のバテンレース事業者と連携し、制作技術の習得を目的とした講座や初心者向けの入門講座を開催し、技術の継承や発信に取り組んだ。
- ・藍染めやガラス工芸、陶芸など地元を中心に活動する職人や手仕事作家の制作実演、体験受入れなどの活動の場として、施設の活用を促進した。
- ・手仕事文化の継承と発信を図るため、職人展やワークショップ、バテンレースをテーマとした催しを開催した。

(2) 街なかへの誘客と回遊の促進

催しの開催によって街なかへの誘客を図るとともに、町家交流館高田小町や高田世界館、瞽女ミュージアム高田などの近隣施設の情報を提供し回遊を促した。

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
				計 画	実 績
入館者数		8,235人	9,053人	9,300人	9,622人
うち 貸室利用	利用件数	188件	131件		102件
	利用人数	702人	538人		503人

決算書 (P132～P133)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	国庫支出金	-	-	1,220	-
	その他	-	90	-	-
	合計	-	90	1,220	-
②支出	施設維持管理費	6,487	7,858	10,635	6,732
	うち委託料	2,201	2,809	1,889	1,668
	その他	560	494	494	494
	合計	7,047	8,352	11,129	7,226
③公費投入額 (②-①)		7,047	8,262	9,909	7,226
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		856	913	1,065	751

○目標達成状況

入館者数は 9,622 人 (目標 9,300 人: 達成率 103.5%) となり、目標を達成することができた。



ものづくり実演会の様子



夏休みワークショップの様子

【事業の成果】

- ・それぞれの施設において、文化財としての価値を保ちながら適切な維持管理を行うとともに、イベントや展示、文化活動の場として活用したことにより、市民や観光客が地域の歴史や文化に触れる機会を創出することができた。
- ・旧今井染物屋において、雪国高田の風土産業であるバテンレース技術の継承と発信に取り組むとともに、染色や織物、陶芸など地元を中心に活動する職人や手仕事作家による実演、制作体験のための工房として利活用を図ったことにより、地域文化の発信と継承、まちのにぎわいを創出することができた。

決算書 (P132～P133)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地域や商店街、市民団体等と連携し、各施設の特徴をいかしたイベントの実施などにより、引き続き誘客と街なか回遊の促進を図る。
- ・入館者数の目標を達成できなかった旧師団長官舎とライオン像のある館については、情報発信の充実を図り、利用促進に取り組む。
- ・引き続き、来館者が安全・安心に利用できるよう、各施設の適切な維持管理を行うとともに、各施設や地域の歴史・文化などの情報について、市ホームページやSNS等を活用し、市内外に広く発信する。

【執行残額について】

事業費節減：旧今井染物屋南側雁木改築工事の設計見直しによる工事請負費の減 451

入札差金：施設管理委託料及び営繕修繕料 164

その他：会計年度任用職員報酬、光熱水費、施設管理委託料等が当初見込みを下回ったことによる執行残 1,438

(単位：千円)

決算書 (P132～P133)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
55,825	53,046			5,300	5,097 (使用料、財産収入、 都府金、諸収入)	42,649
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,779	35		456		2,288

【目的】

- 町家交流館高田小町の管理運営：郷土の歴史的建造物を活用し、市民が集い、交流する場を提供することにより、にぎわいと活力のある地域社会を形成する。
- 坂口記念館の管理運営：坂口記念館の適切な維持管理を行うとともに、文化勲章受章者で応用微生物学の世界的権威である坂口謹一郎博士を顕彰し、教育、学術及び文化の振興を図る。
- 小川未明文学館の管理運営：小川未明に関わる資料等の公開や各種講座の開催を通じて、未明とその作品に対する市民の関心を高めるとともに、郷土が生んだ“日本近代童話の父”小川未明を市内外に発信する。
- 小川未明文学賞の開催：小川未明文学賞の作品を公募し、小川未明の文学精神である「人間愛と正義感」を継承する優秀な創作児童文学作品を送り出すことにより、子どもたちの心に夢と希望を育むほか、小川未明を通じて市内外に向け当市の情報を発信する。
- ミュゼ雪小町の管理運営：芸術活動及び文化交流の場を提供することにより、市民による芸術文化の振興を図り、にぎわいと活力ある地域社会の形成に資する。

令和 7 年 度 の 取 組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

町家交流館高田小町の管理運営 15,904

○令和 7 年度目標

入館者数：25,000 人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 街なか回遊の拠点としての活用

- ・街歩きを行う市民や観光客の休憩に利用されたほか、周辺エリアの回遊マップや各施設のパンフレット等を配置し、観光に関する情報提供を行った。
- ・高田世界館や贅女ミュージアム高田等の近隣施設と連携し、バスツアーなどの来訪客の受入れを行った。

(2) 集会・イベント、文化活動などの場の提供

交流や文化活動、習い事など、会議や集会、交流や文化活動、憩いの場を提供した。

(3) 高田の歴史・文化の紹介

市民団体と連携し、雁木と町家等の懐かしい街並みのほか、かつての大雪の様子を伝える写真などを展示し、高田の歴史や文化を市民や観光客等に紹介した。

決算書 (P132～P133)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

(4) 全館照明のLED化

省エネルギー化及び維持管理経費を縮減し、施設環境の向上を図った。

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				計 画	実 績
入館者数		25,210 人	25,850 人	25,000 人	28,168 人
うち 貸室利用	利用件数	1,148 件	1,365 件		1,241 件
	利用人数	13,216 人	14,012 人		11,931 人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	1,298	1,508	1,328	1,325
	市債	-	-	5,400	5,300
	その他	45	46	41	44
	合計	1,343	1,554	6,769	6,669
②支出	施設維持管理費	11,976	11,264	17,123	15,904
	うち委託料	8,227	8,703	8,964	8,289
	その他	-	-	-	-
	合計	11,976	11,264	17,123	15,904
③公費投入額 (②-①)		10,633	9,710	10,354	9,235
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		422	376	414	328

○目標達成状況

入館者数は 28,168 人 (目標 25,000 人: 達成率 112.7%) となり、目標を達成することができた。

坂口記念館の管理運営 8,472

○令和 7 年度目標

入館者数: 3,400 人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 坂口謹一郎博士の顕彰

所蔵資料を活用し、展示や映像などで博士の業績や人物像を紹介した。また、博士の生誕日が休館日と重なったことから生誕日前の 3 日間を「入館無料デー」として、博士の業績に気軽に触れる機会を提供した。

(2) 定期的な事業の開催

- ・4 月に「坂口謹一郎博士と酒とつばきの祭典」、11 月に「入館無料デー」、2 月から 3 月にかけて雛人形を展示する「ひなまつり」を開催した。
- ・「入館無料デー」に合わせて坂口博士に関する特別展示を行ったほか、坂口記念館を着物で観賞するイベントを開催した。

決算書 (P132～P133)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

(3) 集会、文化活動等の場の提供

地域独自の予算事業で発酵講座や三五八（発酵調味料）づくり体験、アベリアなどの挿し木の方法を学ぶ講習会を開催するなど、各種会合や文化活動などの場として活用を図った。

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				計 画	実 績
入館者数		3,631 人	3,887 人	3,400 人	3,852
うち 貸室利用	楽縫庵占用利用件数	78 件	78 件		67 件
	楽縫庵占用利用者数	863 人	978 人		774 人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	699	733	705	813
	その他	18	40	41	354
	合計	717	773	746	1,167
②支出	施設維持管理費	10,643	10,403	8,339	8,156
	うち委託料	5,307	6,001	6,346	6,345
	その他	77	78	316	316
	合計	10,720	10,481	8,655	8,472
③公費投入額（②－①）		10,003	9,708	7,909	7,305
④利用者 1 人当たりの 公費投入額（単位：円）		2,755	2,498	2,326	1,896

○目標達成状況

入館者数は 3,852 人（目標 3,400 人：達成率 113.3%）となり、目標を達成することができた。

決算書 (P132～P133)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

小川未明文学館の管理運営 5,867

○令和7年度目標

入館者数：27,000 人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 特別展・企画展の開催

名称	会期	内容	入館者数
小川未明文学館開館 20 周年回顧展	3 月 22 日 (土) ～ 4 月 20 日 (日)	小川未明文学館の 20 年の歩みをこれまでの展覧会のポスターやチラシ、写真パネルで紹介	3,378 人
第 33 回小川未明文学賞展	4 月 26 日 (土) ～ 5 月 25 日 (日)	過去の大賞・優秀賞受賞作品の紹介や作品の講評、贈呈式の様子を展示	2,150 人
開館 20 周年記念特別展「小川未明－童話にささげた生涯－」	10 月 4 日 (土) ～ 12 月 14 日 (日)	小川未明の自筆原稿や書簡、未明が所蔵した童話集や愛用品など 182 点を展示し「日本近代童話の父」と称される未明の生涯について、童話を中心に紹介	6,565 人
小川未明フェスティバル・読書感想文コンクール展	令和 8 年 1 月 23 日 (金) ～ 2 月 23 日 (月・祝)	小川未明フェスティバル 2025 の様子や未明童話「海から来た使い」を課題図書とした読書感想文コンクールの受賞作文を紹介	1,937 人

(2) 各種講座等の開催

① 文学館講座

開催日	演題	講師	入館者数
7 月 6 日 (日)	日本の子どもの文学における「詩的なもの」と「散文的なもの」－小川未明を軸に考える－	宮川健郎氏 (児童文学研究者・武蔵野大学名誉教授)	34 人
10 月 5 日 (日)	未明童話・1920 年代の激動と豊穡	小埜裕二氏 (小川未明文学館専門指導員・上越教育大学教授)	33 人
11 月 15 日 (土)	ひろすけ童話のはじまり－「黄金の稲束」から『ひろすけ童話読本』まで－	古畑茉莉子氏 (公益財団法人浜田広介記念館学芸員)	32 人

② 童話創作講座

期 日：5 月 25 日 (日)、6 月 22 日 (日)、7 月 27 日 (日)

講 師：牧野節子氏 (児童文学作家)

受講者数：10 人

③ 朗読研修会

期 日：6 月 14 日 (土)、6 月 21 日 (土)、7 月 5 日 (土)

講 師：橘由貴氏 (朗読療法士・ヴォイスアーティスト)

受講者数：20 人

決算書 (P132～P133)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

④ 子ども向け事業

名称	内容	参加者数
小川未明文学館 こども祭	小川未明に関するクイズや、未明童話に登場するモチーフを使ったペーパークラフトを実施（5 月 10 日（土）開催）	254 人
未明童話の小冊子の配布	月替わりで 1 作品ずつ冊子にした未明童話が無償配布（小学校低学年用と中学年用の 2 種類を作成）	1,294 人

⑤ 朗読ボランティアによるおはなし会

名称	内容	参加者数
文学館おはなし会	文学館の入館者を対象に未明童話を朗読（19 回開催）	257 人
出張おはなし会	市内の小学校を訪問し、未明童話を朗読（10 回開催）	353 人
特別展おはなし会	開館 20 周年記念特別展「小川未明－童話にささげた生涯－」の開催に合わせて、パネルシアターや映像・音楽を用いて 4 作品の未明童話を朗読（10 月 26 日（日）開催）	38 人

(3) 文学館資料の収集・調査及び活用

未明の自筆資料、初版本、近代文学・児童文学に関する資料・図書等の収集及び調査のほか、文学館の所蔵資料を活用した展示を行った。

(4) 館報の刊行

館報（年刊）を刊行し、文学館の事業やボランティアの活動などを広く紹介した。

・発行部数 1,000 部（5 月刊行）

(5) 文学館専門指導員の設置

文学館の事業や運営、資料収集、展覧会の企画内容などについて、小川未明研究の第一人者である小笠裕二専門指導員（上越教育大学教授）から指導や助言を受けながら、必要な資料の収集や効果的な資料展示を行った。

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				計 画	実 績
入館者数		25,741 人	34,320 人	27,000 人	37,586 人
うち 貸室利用	利用件数	9 件	9 件		10 件
	利用人数	5,514 人	5,451 人		5,910 人

決算書 (P132～P133)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	199	215	225	192
	その他	41	39	166	99
	合計	240	254	391	291
②支出	施設維持管理費	3,446	3,391	4,088	3,687
	うち委託料	-	-	-	-
	その他	1,753	2,310	2,524	2,180
	合計	5,199	5,701	6,612	5,867
③公費投入額 (②-①)		4,959	5,447	6,221	5,576
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)		193	159	230	148

○目標達成状況

入館者数は 37,586 人 (目標 27,000 人：達成率 139.2%) となり、目標を達成することができた。

小川未明文学賞の開催 4,331

○令和 7 年度目標

小川未明文学賞応募数 650 編

○実施内容、これまでの経過等

第 34 回小川未明文学賞

小川未明文学賞委員会へ交付金を交付

<応募数> 801 編 (短編部門 453 編・長編部門 348 編) (うち市民からの応募 12 編)

<受賞作> 大 賞 (1 編)「うどんの神さま」(長編部門)

作者 樹 あゆり氏 (香川県)

優秀賞 (1 編)「おとぎ電車と宵待の橋」(長編部門)

作者 隅垣 健氏 (京都府)

<贈呈式> 開 催 日：令和 8 年 3 月 27 日 (金)

会 場：学研本社ビル (東京都)

内 容：小川未明文学賞最終選考委員による講評、受賞者の挨拶、朗読

決算書 (P 132～P 133)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		



小川未明文学賞委員会会長による講評の様子



受賞者及び関係者

○目標達成状況

小川未明文学賞応募数は 801 編（目標 650 編：達成率 123.2%）となり、目標を達成することができた。

ミュゼ雪小町の管理運営 18, 143

○令和 7 年度目標

入館者数 47, 000 人

○実施内容、これまでの経過等

文化・芸術活動などの場の提供

創作活動、集会機能を持つ多目的室やギャラリーの貸室を行い、市民や市民団体等が開催する展覧会やダンスの練習、会議等の会場として利用された。

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				計 画	実 績
入館者数		46, 277 人	45, 637 人	47, 000 人	44, 387 人
うち 貸室利用	利用件数	532 件	583 件		564 件
	利用人数	12, 820 人	14, 007 人		14, 501 人

※複数日の貸室の場合は 1 日 1 件でカウント、使用場所が複数の場合は 1 件でカウント

決算書 (P132～P133)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	2,202	2,681	2,426	2,255
	その他	-	2,400	-	-
	合計	2,202	5,081	2,426	2,255
②支出	施設維持管理費	16,977	20,869	18,619	18,143
	うち委託料	8,505	8,462	10,269	10,118
	その他	-	-	-	-
	合計	16,977	20,869	18,619	18,143
③公費投入額 (②-①)		14,775	15,788	16,193	15,888
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		319	346	345	358

・多目的室の自習室としての開放

多目的室について、利用予約のない日時を自習室として開放し、高校生等の居場所づくりに寄与した。

○目標達成状況

屋内共用スペースに作品展示用のライティングレールを新設したほか、多目的室を学習スペースとして無料開放するなど、利用者の利便性向上に取り組んだが、入館者数は 44,387 人（目標 47,000 人：達成率 94.4%）となり、目標を達成することができなかった。

地域独自の予算事業 329

- ・坂口記念館の特色を活かした事業（頸城区）（105）
- ・花の苗里親育成事業（頸城区）（224）

【事業の成果】

- ・町家交流館高田小町において、観光情報の提供や近隣施設と連携した来訪者の受入れを行うことにより、街なか回遊の拠点施設として活用が図られた。また、全館照明の LED 化により施設環境の向上を図った。
- ・市ホームページや SNS での情報発信、発酵をテーマにした講座や入館無料デーにおいて特別展示を実施するなど博士の偉業や坂口記念館の魅力を発信し、利用者増につなげることができた。
- ・特別展や各種講座、おはなし会などの開催を通して、市民から小川未明の業績に触れてもらい未明作品に親しんでもらうことができた。
- ・小川未明文学賞について、令和 6 年度に引き続きメールでの応募を可能としたことで、応募数が令和 6 年度比で 162 件増加し、年代別では、20 歳代、30 歳代の応募が 22 件増加した。
- ・ミューゼ雪小町のギャラリーや多目的室の貸室を通じ、市民や市民団体等の文化・芸術活動の場を提供したほか、高校生の居場所づくりにも寄与した。

決算書 (P132～P133)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・令和 9 年度に坂口博士生誕 130 年を迎えることから、顕彰に取り組む市民団体と連携しながら博士の業績を発信するとともに、より多くの方から来館いただけるよう、引き続き、坂口記念館での市主催イベントや各種講座を開催し誘客を図る。
- ・市民の小川未明の作品や業績に関する認知度をさらに高めるため、引き続き、小川未明文学館で開催する特別展や特集展示、各種講座の内容を充実させていく。
- ・入館者数の目標を達成できなかったミュゼ雪小町については、駅からの近さなど、利便性の良さをアピールし、利用の促進を図る。

【執行残額について】

事業費節減：地域独自の予算事業（坂口記念館の特色を活かした講座事業）において、食材の調達方法を工夫したことによる食糧費の減 35

入札差金：印刷製本費、修繕料、施設管理委託料、借上料 456

その他：会計年度任用職員報酬や光熱水費等が当初見込みを下回ったことによる執行残 1,523

町家交流館高田小町の除雪委託等の実績が当初見込みを下回ったことによる施設管理委託料の執行残 615

ミュゼ雪小町が入居する、あすとぴあ高田に係る共益費負担金等が当初見込みを下回ったことによる執行残 150

(単位：千円)

決算書 (P260～P261)	7 款 1 項 1 目 商工総務費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度 所管は観光振興課）
事業名	露店市場運営事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
19,351	18,204				7,124 (手数料、諸収入)	11,080
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,147					1,147

【目的】

朝市を開設し、百年以上続く生活文化を次の世代につないでいくとともに、高田城址公園観桜会、各区のお祭りなどにおいて移動露店を開設し、にぎわいの創出を図る。

令和 7 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 7 年度目標

朝市 1 回当たりの平均出店数：80 店

○実施内容、これまでの経過等

(1) 朝市の開設

・常設露店

朝市の開催

(合併前上越市) 二・七の市、三・八の市、四・九の市

(柿崎区) 一の市

・常設露店の推移

常時出店数

	合併前上越市			柿崎区	合計
	二・七の市	三・八の市	四・九の市	一の市	
令和 5 年度	25 店	22 店	17 店	5 店	69 店
令和 6 年度	20 店	18 店	15 店	4 店	57 店
令和 7 年度	17 店	14 店	12 店	5 店	48 店

決算書 (P 260～P 261)	7 款 1 項 1 目 商工総務費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度 所管は観光振興課）
事業名	露店市場運営事業		

臨時出店数（1 回あたりの平均臨時出店数）

	合併前上越市			柿崎区	合計
	二・七の市	三・八の市	四・九の市	一の日市	
令和 5 年度	12 店	8 店	7 店	2 店	29 店
令和 6 年度	13 店	7 店	7 店	2 店	29 店
令和 7 年度	12 店	6 店	6 店	2 店	26 店

- ・朝市活性化検討会の開催
開催日 11 月 14 日（金）
内 容 各朝市の更新手続き、次年度事業計画の協議など
委員構成 市場管理受託者、露店出店者の代表
- ・上越市露店市場運営委員会の開催
開催日 12 月 1 日（月）
内 容 露店市場出店状況、移動露店における公募制導入の報告など
委員構成 学識経験者、関係行政機関の代表、市場開設区域内の町内会長の代表、露店出店者の代表、市場開設関係団体の代表、公募に応じた市民 合計 21 人
- ・無料駐車券の交付
朝市への集客と朝市利用による迷惑駐車解消を図るため、朝市で商品を購入した駐車場利用者に対し、本町商店街駐車場（3・4・5 丁目）の 30 分無料駐車券の配布を行った。
- ・イベントの開催
若年層やファミリー層など幅広い世代に朝市を知ってもらうことを目的として、パンやスイーツなど出店品目を限定したイベントを 5 回開催した。

(2) 移動露店の開設

- ・会場及び移動露店出店数

会 場	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
高田城址公園観桜会	61 店	211 店	215 店
八坂神社春祭礼	中止	5 店	中止
上越まつり・高田本町	16 店	14 店	16 店
上越まつり・三八通り	49 店	52 店	53 店
上越まつり・八坂神社	11 店	12 店	13 店
謙信公祭	7 店	6 店	9 店
坂田池観桜会（柿崎区）	11 店	11 店	11 店
お引き上げ商工まつり（柿崎区）	77 店	95 店	99 店
納涼花火大会（柿崎区）	10 店	10 店	10 店

- ・移動露店における公募制の導入
新潟県警察からの要請と地域経済の活性化を図るため、第 100 回謙信公祭移動露店（令和 7 年度）から公募制を導入した。

決算書 (P 260～P 261)	7 款 1 項 1 目 商工総務費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度 所管は観光振興課）
事業名	露店市場運営事業		

○目標達成状況

朝市の常設露店では、出店者の高齢化に伴い、毎回の出店が困難となるケースが増えたことなどにより、出店回数が減少した。その結果、朝市 1 回当たりの平均出店数は 74 店にとどまり、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

令和 3 年度から継続して実施している、パンやスイーツ等をテーマとしたイベントを開催したことにより、若者やファミリー層をはじめとする幅広い世代の来場があり、朝市の活性化につながることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・朝市の来場者や新規出店者の増加を図るため、イベントを開催するなど、引き続き朝市組合及び関係者と協議しながら取組を進めていく。
- ・移動露店の公募制を定着させることにより、市内事業者の新たな出店を促進し、地域経済の活性化を図る。

【執行残額について】

そ の 他：移動露店市場管理委託料など当初見込みを下回ったことによる執行残 1, 147

(単位：千円)

決算書 (P268～P269)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度 所管は魅力創造課・観光振興課）
事業名	観光振興対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
134,875	127,907				6,532 (財産収入、諸収入)	121,375
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	6,968			1		6,967

【目的】

観光情報の提供、観光資源のPR、関係団体の取組への支援などを通じ、観光の振興と多様な交流機会の創出を図る。

令和 7 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

観光案内運営事業 20,632

○令和 7 年度目標

利用実績等から案内所の利用実態を把握し、案内機能の検討及び改善を図ることで、旅行者に必要なサービスを提供し、観光客の満足度を高める。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 観光案内所運営業務委託料 (17,752)

・開設実績

案内所名	開設時間	休日
高田駅前観光案内所	午前 10 時～午後 4 時 ※観桜会会期中は午前 10 時～午後 7 時	12 月 31 日・令和 8 年 1 月 1 日
直江津駅前観光案内所	(4 月 1 日～10 月 31 日) 午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分 (11 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日) 午前 10 時～午後 5 時	12 月 31 日・令和 8 年 1 月 1 日
上越妙高駅観光案内所	午前 9 時～午後 6 時	なし

決算書 (P 268～P 269)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度 所管は魅力創造課・観光振興課）
事業名	観光振興対策事業		

・観光案内所窓口案内人数実績

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
高田駅前観光案内所	4,414 人	4,355 人	4,949 人
直江津駅前観光案内所	7,449 人	7,496 人	5,385 人
上越妙高駅観光案内所	6,556 人	7,639 人	8,773 人
合 計	18,419 人	19,490 人	19,107 人

(2) 上越妙高駅デジタルサイネージ広告掲載料 (704)

上越妙高駅自由通路に設置されているデジタルサイネージを活用し、駅利用者に対し、時季に合わせたおすすめ観光スポットや観桜会、謙信公祭などのイベントを発信した。

(3) 観光ボランティアガイド育成事業委託料 (1,847)

観光ボランティアガイドを育成し、当市の見どころや歴史、文化、風習などを案内することで、観光客の満足度の向上を図った。

(4) デジタルサイネージモニターガラス撤去業務委託料 (330)

ディスプレイの更新に伴い、ディスプレイ前面に設置しているガラスを撤去、処分した。

○目標達成状況

案内所の利用実績の分析を通じて観光客のニーズ把握に努めるとともに、観光パンフレットの更新やモバイルバッテリーの貸出などにより旅行者に必要なサービスを提供することができた。

観光物産宣伝推進事業 21,548

○令和 7 年度目標

入込数：722,600 人

○実施内容、これまでの経過等

・観光物産展開催実績

物産展名称	開催場所	開催日等	主催者	令和 7 年度入込数	
				目標	実績
いわない怒涛まつり	岩内町	8 月 2 日（土）～3 日（日）（2 日間）	岩内町	61,000 人	32,400 人
産業フェアしずおか	静岡市	11 月 29 日（土）～30 日（日）（2 日間）	静岡市	40,700 人	45,700 人
観桜会物産展（第 100 回）	高田城址公園	令和 7 年 3 月 28 日（金）～令和 7 年 4 月 13 日（日）（17 日間）	上越市	600,000 人	525,000 人
謙信公祭物産展	上越文化会館	8 月 23 日（土）～24 日（日）（2 日間）	上越市	13,200 人	15,462 人
姉妹都市と上越市の観光と物産展	直江津屋台会館	10 月 4 日（土）～5 日（日）（2 日間）	上越市	7,700 人	7,545 人
合 計				722,600 人	626,107 人

決算書 (P 268～P 269)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度 所管は魅力創造課・観光振興課）
事業名	観光振興対策事業		

・入込数の推移

令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
487, 981 人	483, 397 人	626, 107 人

○目標達成状況

目標の入込数に達することができなかったが、観桜会と謙信公祭を周年事業として実施したことにより、入込数が令和 6 年度に比べ大幅に伸びた。

上越観光コンベンション協会補助金 46, 208

○令和 7 年度目標

上越観光コンベンション協会の活動及び運営に対して補助を行い、観光振興の活性化を図る。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 上越観光コンベンション協会の運営支援

職員人件費、旅行会社への観光営業活動、メディアを活用した広告宣伝活動に係る経費の一部を支援した。

(2) コンベンション開催誘致事業

交流人口の拡大と地域経済の活性化を促進するため、スポーツ大会や学術会議などの開催費の一部や、スポーツ合宿に係る宿泊費の一部を補助する取組を支援した。

(3) 旅行商品造成促進事業

旅行商品造成を促進し、市内経済の活性化を図るため、旅行会社が企画する市内宿泊又は立ち寄りを伴う募集型旅行に対し、経費の一部を補助する取組を支援した。

・スポーツ大会などのコンベンション開催件数及び募集型旅行商品実施件数

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
スポーツ大会などのコンベンション開催件数	20 件	17 件	21 件
募集型旅行実施件数（バス台数）	135 台	107 台	109 台

○目標達成状況

上越観光コンベンション協会の活動及び運営に係る経費の一部を補助することで、観光振興の活性化を図ることができた。

観光振興に係る諸経費 11, 949

○実施内容、これまでの経過等

- ・会計年度任用職員報酬等（10, 272）
- ・庁用自動車維持・運行経費（606）
- ・その他旅費、消耗品費、土産代など（1, 071）

決算書 (P 268～P 269)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度 所管は魅力創造課・観光振興課）
事業名	観光振興対策事業		

各区の観光振興対策事業 10,549

安塚区 600

○令和 7 年度目標

観光協会事業入込数：7,640 人

○実施内容、これまでの経過等

安塚観光協会補助金

安塚区内への来訪者の増加と経済効果の拡大を図るため、安塚観光協会の活動を支援した。

<入込数>

	令和 7 年度		
	実施日	目 標	実 績
信越トレイルの利用促進 (菱ヶ岳ハイキングを実施)	6 月 7 日 (土)	40 人	21 人
山のうえ真夏の雪まつりへの協力 (スイカふるまいを実施)	8 月 16 日 (土)	1,500 人	2,000 人
東京都内物産イベントへの参加 (江東区民まつりでの物販・観光 P R)	10 月 18 日 (土) ～19 日 (日)	—	—
観光客誘客事業 ・スキー場集客イベント (豚汁ふるまい) ・ホームページの更新 (イベント周知)	集客イベント 12 月 28 日 (日)	300 人	360 人
灯の回廊・安塚キャンドルロード (雪茶屋の支援) 及び山のうえ雪まつりへの協力	令和 8 年 2 月 28 日 (土)	5,000 人	2,930 人
その他 (区内観光看板整備等)	—	800 人	281 人
合 計		7,640 人	5,592 人

<入込数の推移>

令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
7,415 人	5,103 人	5,592 人

○目標達成状況

安塚区の特色をいかした各種イベントへの参画や観光 P R、情報発信等により集客の確保に努めたが、安塚キャンドルロードについては、本来降雪期である冬季にもかかわらず、開催当日の降雨の影響により来訪者数が減少し、目標を達成することができなかった。

決算書 (P 268～P 269)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度 所管は魅力創造課・観光振興課）
事業名	観光振興対策事業		

牧区 275

○令和 7 年度目標

観光施設入込数：27,600 人

○実施内容、これまでの経過等

牧区ふるさと観光振興会補助金

牧区の観光資源やそば打ち体験など各種イベントを広域的に P R し、区外からの誘客や交流人口の増加を図るため、牧区ふるさと観光振興会の活動を支援した。

<入込数>

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
			目 標	実 績
牧湯の里深山荘	19,397 人	19,117 人	20,500 人	20,804 人
牧ふるさと村自然と憩の森	7,300 人	7,092 人	7,140 人	7,328 人
合 計	26,697 人	26,209 人	27,640 人	28,132 人

<入込数の推移>

令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
28,799 人	27,907 人	28,132 人

※令和 5、6 年度は、牧湯の里深山荘、牧ふるさと村自然と憩の森、牧ふれあい体験交流施設の 3 施設の入込数

○目標達成状況

S N S の活用など P R 活動を推進したことにより、目標を達成することができた。

柿崎区 3,212

○令和 7 年度目標

・海水浴場入込数：5,000 人

・観光協会事業入込数：51,100 人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 米山山頂避難小屋連絡協議会負担金（428）

避難小屋等の維持管理及び山頂の環境整備に要する費用の負担金

（米山山頂避難小屋連絡協議会：柏崎市、上越市（柿崎区）、柏崎山岳会、柿崎山岳会、柏崎観光協会、柿崎観光協会、柿崎区下牧町内会）

(2) 柿崎観光協会補助金（2,495）

柿崎区の観光振興を担う観光協会の活動を支援した。

(3) その他車両経費（289）

庁用車の燃料費、リース料、車検点検修繕費等

決算書 (P 268～P 269)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度 所管は魅力創造課・観光振興課）
事業名	観光振興対策事業		

<入込数>

		令和 7 年度				
		実施日		目 標	実 績	
柿崎中央海水浴場		7 月 12 日（土）～ 8 月 17 日（日）	5, 000 人		3, 301 人	
柿崎観光協会事業	坂田池観桜会	4 月 1 日（火）～ 4 月 15 日（火） (15 日間)	2, 920 人	51, 100 人	1, 800 人	49, 617 人
	米山山開き登山	5 月 25 日（日）	100 人		15 人	
	お引き上げ商工まつり	6 月 20 日(金)～22 日 （日）(3 日間)	40, 000 人		41, 260 人	
	海開き安全祈願祭	7 月 6 日（日）	30 人		12 人	
	柿崎区納涼花火大会	8 月 13 日（水）	8, 000 人		6, 500 人	
	城山（猿毛城跡）登山	10 月 27 日（月）	50 人		30 人	
合 計		56, 100 人		52, 918 人		

<入込数の推移>

令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
42,771 人	52,322 人	52,918 人

○目標達成状況

・柿崎中央海水浴場

令和 6 年度より天候には恵まれたが、猛暑や渇水等が影響し、海水浴客の入込みが伸び悩み、目標に到達することができなかった。

・柿崎観光協会事業

お引き上げ商工まつりでは、令和 6 年度より露店が 4 店舗増え 99 店舗の出店があったほか、入込数も 1,673 人増となった。

米山山開き登山では、悪天候のため、安全祈願のみの開催となったことから、入込数の目標を達成できなかった。

決算書 (P 268～P 269)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度 所管は魅力創造課・観光振興課）
事業名	観光振興対策事業		

大潟区 3,332

○令和 7 年度目標

- ・鵜の浜温泉の宿泊者数：26,000 人
- ・鵜の浜海水浴場・人魚館等を含めた日帰り客数：107,700 人

○実施内容、これまでの経過等

- (1) 大潟観光協会補助金（2,732）
大潟区の観光振興を担う観光協会の活動を支援した。
- (2) 鵜の浜温泉まつり実行委員会補助金（600）
鵜の浜温泉まつりの開催に係る経費を補助した。

<入込数>

		令和 7 年度			
		目 標		実 績	
鵜の浜温泉の宿泊者数		26,000 人		14,673 人	
日帰り客数	鵜の浜温泉	3,830 人	107,700 人	2,095 人	100,597 人
	鵜の浜海水浴場	18,700 人		17,469 人	
	鵜の浜人魚館	85,170 人		81,033 人	
合 計		133,700 人		115,270 人	

<入込数の推移>

令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
139,889 人	121,135 人	115,270 人

○目標達成状況

- ・鵜の浜温泉の宿泊者数
ホテルの閉鎖、猛暑や渇水等が影響し、目標を達成することができなかった。
- ・鵜の浜海水浴場・人魚館等を含めた日帰り客数
鵜の浜海水浴場の海岸侵食対策として、県が柿崎川河口の浚渫土砂を投入し、従来の海水浴場開設位置で開設することができたことから、7 月の入込数は令和 6 年度より増えたものの、8 月は悪天候による遊泳禁止もあったため、目標を達成することができなかった。
また、鵜の浜人魚館では、機械の故障により繁忙期にプールの開設ができなかったことから、利用が伸び悩んだ。

決算書 (P 268～P 269)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度 所管は魅力創造課・観光振興課）
事業名	観光振興対策事業		

頸城区 1,000

○令和 7 年度目標

観光協会事業入込数：7,330 人

○実施内容、これまでの経過等

頸城区観光協会補助金

頸城区観光協会が実施するイベント情報の発信や、イベント開催などの活動を支援した。

<入込数>

	令和 7 年度		
	実施日	目 標	実 績
頸城の旬を味わう会	6 月 16 日（月）	40 人	26 人
頸城の祭典事業	8 月 3 日（日）	5,100 人	6,000 人
雁金城狼煙上げ支援事業	8 月 23 日（土）	50 人	50 人
大池まつり開催事業	9 月 23 日（火・祝）	2,000 人	2,000 人
いも煮会	11 月 14 日（金）	40 人	32 人
バスツアー	6 月 27 日（金）	35 人	17 人
頸城の観光資源を学ぶ会	12 月 14 日（日）	25 人	26 人
新酒を愉しむ会	2 月 20 日（金）	40 人	27 人
観光情報発信等	通年	-	-
合 計		7,330 人	8,178 人

<入込数の推移>

令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
10,341 人	6,013 人	8,178 人

○目標達成状況

令和 6 年度に比べ、SNS による情報発信を強化したことにより、入込数が増加し、目標を達成することができた。

決算書 (P 268～P 269)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度 所管は魅力創造課・観光振興課）
事業名	観光振興対策事業		

吉川区 1,271

○令和 7 年度目標

観光協会事業入込数：2,750 人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 吉川観光協会補助金（530）

吉川区の観光振興を担う観光協会の活動を支援した。

(2) 東京都荒川区(友好都市)における物産販売等（741）

東京都荒川区で開催された「第 39 回川の手荒川まつり」のふるさと物産展への参加を支援した。

<入込数>

	令和 7 年度		
	実施日	目 標	実 績
尾神しだれ桜まつり	4 月 10 日（木）～17 日（木） （ライトアップ）（8 日間） 4 月 12 日（土）イベント開催	400 人	480 人
越後よしかわやったれ祭り（出店）	8 月 2 日（土）	400 人	580 人
よしかわ道の駅まつり「サマーフェス」	8 月 11 日（月・祝）	500 人	630 人
夕遊市 吉川テラス（出店）	9 月 6 日（土）	400 人	560 人
尾神そば早食い選手権	9 月 27 日（土）	200 人	200 人
吉川観光協会長杯争奪パラグライダー大会	11 月 1 日（土）～2 日（日） （2 日間）	200 人	210 人
尾神岳伝説講演会等	11 月 8 日（土）	150 人	190 人
尾神岳「山頂でトレッキング」	11 月 15 日（土）	60 人	60 人
よしかわ道の駅 新そばまつり	11 月 24 日（月・祝）	300 人	370 人
新酒と料理を楽しむ会（郷土料理を食する会）	令和 8 年 3 月 14 日（土）	140 人	160 人
合 計		2,750 人	3,440 人

<入込数の推移>

令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
2,417 人	2,953 人	3,440 人

○目標達成状況

実施した全てのイベントにおいて目標を達成することができた。また、毎年恒例となっているイベントでは、リピーターも多くみられにぎわった。

決算書 (P 268～P 269)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度 所管は魅力創造課・観光振興課）
事業名	観光振興対策事業		

中郷区 396

○令和 7 年度目標

観光協会事業入込数：3,000 人

○実施内容、これまでの経過等

中郷観光協会補助金

中郷の歴史と文化の継承につなげるため、小・中学生を対象とした縄文体験や文化体験などに取り組む観光協会の活動を支援した。

<入込数>

	令和 7 年度		
	実施日	目 標	実 績
松ヶ峯周辺のライトアップ	4 月 5 日(土)～27 日(日) (23 日間)	1,300 人	1,300 人
さくらを楽しむ会	4 月 13 日(日)		
縄文公園体験イベント	8 月 2 日(土)、8 月 20 日(水) (2 日間)	400 人	170 人
二本木駅スイッチバック活性化事業	5 月 24 日(土)	800 人	400 人
中郷スノーフェスタ	令和 8 年 2 月 15 日(日)	500 人	350 人
合 計		3,000 人	2,220 人

<入込数の推移>

令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
2,000 人	2,450 人	2,220 人

○目標達成状況

二本木駅スイッチバック活性化事業及び中郷スノーフェスタは、開催当日の悪天候により、入込目標数を達成することができなかった。また、縄文公園体験イベントは近隣イベントの相乗効果で目標の入込数を見込んだが、イベント日程が合わなかったため入込数の目標を達成することができなかった。

決算書 (P 268～P 269)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度 所管は魅力創造課・観光振興課）
事業名	観光振興対策事業		

板倉区 283

○令和 7 年度目標

ゑしんの里記念館利用者数：9,000 人

○実施内容、これまでの経過等

板倉まちづくり振興会観光振興事業補助金

特定非営利活動法人板倉まちづくり振興会による、ゑしんの里記念館での展示事業及び地元産蕎麦の消費拡大事業等の P R 活動を支援した。

<入込数>

	令和 7 年度		
	実施日	目 標	実 績
いたくら特産品販売会 (やわやわマーケット板倉と同時開催)	毎月第 4 土曜日 (12 月～2 月は休止)	4,000 人	2,755 人
シーグラスアート展	4 月 12 日(土)～5 月 11 日(日) (30 日間)	400 人	849 人
マジックショー、マジック教室、 秋のお笑い落語会	6 月 28 日(土)、8 月 23 日(土)、 9 月 27 日(土)	100 人	80 人
フォト倶楽部「写遊四季」写真展	8 月 1 日(金)～8 月 3 日(日) (3 日間)	200 人	120 人
お雛様展示	令和 8 年 1 月 24 日(土)～3 月 21 日(土) (57 日間)	1,200 人	1,100 人
ニューイヤーコンサート	令和 8 年 1 月 25 日(日)	50 人	97 人
スプリングコンサート	令和 8 年 3 月 14 日(土)	50 人	90 人
一般入館者		3,000 人	3,853 人
合 計		9,000 人	8,944 人

<入込数の推移>

令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
9,175 人	10,485 人	8,944 人

○目標達成状況

やわやわマーケット板倉と同時開催した、いたくら特産品販売会やシーグラスアート展、お雛様展示等、年間を通して様々なイベントを実施し、入込数の増加を図ったが、いたくら特産品販売会(やわやわマーケット板倉)が悪天候の影響により、入込数が減少したため、目標を達成することができなかった。

決算書 (P 268～P 269)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度 所管は魅力創造課・観光振興課）
事業名	観光振興対策事業		

名立区 180

○令和 7 年度目標

長野県東御市で開催される「火のアートフェスティバル」へ参加し、名立区及び上越市の P R を行う。

○実施内容、これまでの経過等

名立区イベント交流事業補助金

友好交流を続けている長野県東御市で開催された「火のアートフェスティバル」における当市の特産品の販売や P R 等を支援した。

○目標達成状況

- ・実施主体である「東御市との交流実行委員会」への支援を通じて、「火のアートフェスティバル」に参加し、当市の特産品の販売や P R を行うことができた。
- ・また、3 年ぶりに名立区市民を対象とした東御市をめぐるツアーを「火のアートフェスティバル」にあわせて開催したことにより、東御市への理解が深まり、両市の交流を推進することができた。

地域独自の予算事業 17,021

- ・「雪まつり（キャンドルイベント）」開催による地域交流・地域活性化事業（高土区）（2,427）
- ・谷浜・桑取のガイドマップ作成事業（谷浜・桑取区）（62）
- ・山のうえの雪まつり事業（安塚区）（1,287）
- ・山のうえ真夏の雪まつり事業（安塚区）（893）
- ・安塚リバーサイド「小さな桜まつり」（安塚区）（1,095）
- ・うらがわら雪あかりフェスタ事業（浦川原区）（658）
- ・地域の宝を活かした「薬師 R e : P r o j e c t」地域活性化事業（大島区）（433）
- ・地域の活性化促進事業（まき深山のともしび）（牧区）（827）
- ・ジャンボ縁日事業（大潟区）（1,381）
- ・鶴の浜温泉色彩音楽花火事業（大潟区）（2,922）
- ・大池の四季散策と親子イベント体験事業（頸城区）（328）
- ・吉川観光重点 2 地区活性化推進事業（吉川区）（2,790）
- ・灯火のイベント事業（三和区）（405）
- ・雪を活かしたまちづくり推進事業（名立区）（147）
- ・名立四季の魅力発信推進事業（名立区）（1,366）

【事業の成果】

- ・上越観光コンベンション協会が実施する各種コンベンションや募集型企画旅行の補助に対する支援により、市内での宿泊や飲食、交通利用の促進につなげるなど、市内経済の活性化に寄与したほか、地域の認知度向上や交流人口の拡大につなげることができた。
- ・各区観光協会が行うイベントや特産物の販売促進、観光 P R 活動などに対する支援により、各区における観光振興に寄与することができた。

決算書 (P 268～P 269)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度 所管は魅力創造課・観光 振興課）
事業名	観光振興対策事業		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

コンベンションの開催規模や形態、旅行会社が造成する募集型旅行商品は、社会情勢の変化や公共交通機関の運賃改定等の影響を受けやすく、ニーズも変化しやすいことから、実施主体である上越観光コンベンション協会と連携しながら、事業効果や利用状況を検証し、より効果的な補助制度となるよう支援内容の見直しを図るとともに、必要な支援を行っていく。

【執行残額について】

入 札 差 金：観光案内所運營業務委託料に係る入札差金 1

そ の 他：魅力創造総務管理費に係る事務経費について当初見込みを下回ったことに伴う執行残 491

観光物産宣伝推進事業、観光振興総務費及び各区観光振興対策事業に係る事務経費について当初見込みを下回ったことに伴う執行残 2,837

上越観光コンベンション協会補助金に係る協会職員の人件費や旅費等について当初見込みを下回ったことに伴う執行残 2,929

地域独自の予算事業補助金の執行残 710

(単位：千円)

決算書 (P268～P271)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度所管は観光振興課）
事業名	イベント推進費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
215,870	205,542	545			69,948 (寄附金、繰入金、諸収入等)	135,049
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	10,328					10,328

【目的】

高田城址公園観桜会など、当市を代表する各イベントを実行組織と連携して開催し、市民の地域への誇りと愛着、一体感を醸成するとともに、多様な交流機会の創出と観光の活性化を図る。

令和 7 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

観桜会事業 102,471

○令和 7 年度目標

入込数：600,000 人

○実施内容、これまでの経過等

・観桜会事業補助金

開催日 令和 7 年 3 月 28 日（金）から 4 月 13 日（日）までの 17 日間

会場 高田城址公園

事業主体 上越市、公益社団法人上越観光コンベンション協会、上越商工会議所

事業内容 さくらロード、高田城三重櫓及び桜見本園のライトアップ、ぼんぼりの点灯、オープニング花火打上げ、記念植樹、モバイル屋台を活用したゴミ回収プロジェクト、調査木語り部演出ライトアップ、歴史博物館及び高田駅前広場のプロジェクションマッピングなど

・入込数の推移

令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
410,000 人	418,000 人	525,000 人

○目標達成状況

第 100 回記念として、事業内容の充実を図ったことにより、令和 6 年度の入込数は上回ったものの、会期前半の降雨等の影響により、目標を達成することができなかった。

決算書 (P268～P271)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度所管は観光振興課）
事業名	イベント推進費		

上越まつり事業 74,970

○令和 7 年度目標

	入込数
高田地区	53,000 人
直江津地区	185,000 人
春日地区	62,000 人

○実施内容、これまでの経過等

・上越まつり委員会交付金

事業主体 上越まつり委員会（高田祇園まつり奉賛会、直江津祇園祭協賛会、謙信公祭協賛会）

＜高田、直江津地区＞

開催日 7 月 23 日（水）から 29 日（火）まで

開催内容 ミュージック花火打上げ（高田地区）、みこし渡御、みこしの川下り、大花火大会（直江津地区）、町内屋台巡行、御饞米奉納、大民踊流し、小学生によるスクールバンド演奏、ダンスコンテスト、露店の開設など

＜春日地区（謙信公祭）＞

開催日 8 月 22 日（金）前夜祭、8 月 23 日（土）及び 24 日（日）本祭

事業内容 前夜祭（ちょうちん行列、花火の打上げ）、本祭（狼煙上げ、献納米合戦、各種ステージイベント、武禊式、出陣行列、川中島合戦の再現など）

・入込数の推移

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
高田地区	50,000 人	51,000 人	52,000 人
直江津地区	181,000 人	184,000 人	191,000 人
春日地区	14,700 人	48,200 人	96,600 人

○目標達成状況

直江津地区においては「上越アニバーサリー花火」を実施したことや、春日地区（謙信公祭）については第 100 回記念として、国宝「太刀無銘一文字（山鳥毛）」の展示及び謙信公祭でのゲスト招へいを行ったことから、直江津地区及び春日地区では、目標を達成することができた。

また、高田地区は、令和 6 年度の入込数は上回ったものの、熱中症対策により、子どもみこし巡行が中止になったことやマーチングバンドの演奏会の参加校が減少したため、目標を達成することができなかった。

観蓮会事業 3,327

○令和 7 年度目標

入込数：120,000 人

○実施内容、これまでの経過等

・高田城址公園観蓮会実行委員会交付金

開催日 7 月 19 日（土）から 8 月 24 日（日）までの 37 日間

会場 高田城址公園、高田本町商店街ほか

事業主体 高田城址公園観蓮会実行委員会事務局

決算書 (P268～P271)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度所管は観光振興課）
事業名	イベント推進費		

事業内容 高田城と蓮めぐりツアー、観蓮オーレンピアノ、夏の本町ガチ盛りまつり、レストランエリスのアフタヌーンティー、フォトコンテストなど

・入込数等の推移

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
入込数	85,000 人	113,000 人	101,000 人
開催期間	7 月 15 日（土）から 8 月 20 日（日）まで	7 月 13 日（土）から 8 月 25 日（日）まで	7 月 19 日（土）から 8 月 24 日（日）まで
日 数	37 日間	44 日間	37 日間

○目標達成状況

猛暑や渇水等が影響し、入込数が伸び悩み目標を達成することができなかった。

レルヒ祭事業 5,250

○令和 7 年度目標

入込数：5,000 人

○実施内容、これまでの経過等

・レルヒ祭実行委員会交付金

開 催 日 令和 8 年 2 月 7 日（土）、8 日（日）

会 場 金谷山スキー場、高田本町商店街ほか

事業主体 レルヒ祭実行委員会

事業内容 地域の学生やアーティストによるステージイベント、ミュージックスターマイン、一本杖スキー披露、レルヒ屋台村開設、本町ガチ盛りまつり、本町通りに雪灯籠の設置など

・入込数の推移

令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
4,000 人	3,400 人	2,400 人

○目標達成状況

大雪による一部イベントの中止などの影響により、目標を達成することができなかった。

決算書 (P 268～P 271)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度所管は観光振興課）
事業名	イベント推進費		

第 100 回謙信公祭記念事業 19,524

○令和 7 年度目標

入込数：62,000 人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 国宝「太刀無銘一文字（山鳥毛）」の展示（10,334）

- ・会場 上越市立歴史博物館
- ・開催期間 令和 7 年 8 月 13 日（水）から 24 日（日）まで
- ・入場者数 5,553 人

(2) 謙信公祭の出陣行列及び川中島合戦の再現へのゲスト招へい（7,646）

- ・上杉謙信公役 松平 健 氏

(3) 「出陣！なんでも鑑定団 in 上越」の開催（454）

- ・開催日 令和 7 年 6 月 8 日（日）
- ・会場 上越文化会館大ホール
- ・観覧者数 1,270 人

(4) まんが「上杉謙信ものがたり」デジタルブックの作成（1,090）

平成 13 年に刊行したまんが「上杉謙信ものがたり」をデジタルブック化し、市ホームページで公開

(5) 入込数 96,600 人

○目標達成状況

国宝「太刀無銘一文字（山鳥毛）」の展示や出陣行列等のゲストを招へいしたことにより、目標を達成することができた。

【事業の成果】

第 100 回高田城址公園観桜会、第 100 回謙信公祭などの周年事業の入込数が例年に比べ多かったことにより、多様な交流機会の創出と市内経済の活性化に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

各イベントの実行組織及び関係機関と効果的な情報発信や受入態勢の在り方等について継続的に検討を重ねるとともに、イベント内容の充実、情報発信及びデータ収集・分析を通じて、当市の認知度向上と交流人口の更なる拡大を図っていく。

【執行残額について】

そ の 他：観桜会の会期の変更に伴う執行残 8,695

上越まつり交付金など当初見込みを下回ったことによる執行残 1,633

(単位：千円)

決算書 (P270～P271)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	直江津屋台会館管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
14,291	13,116			4,100	195 (使用料、財産収入、 諸収入)	8,821
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,175					1,175

【目的】

直江津祇園祭の屋台を保管するとともに、観光情報の発信を行い、伝統文化の保存と地域の活性化を図る。

令和 7 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 7 年度目標

利用者数：25,600 人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 西本町 4 丁目 18 番 12 号
 設置年度 平成 6 年度
 構造 鉄骨造 1 階建て
 施設内容 イベントホール、広場、保存・展示庫
 面積 延床 1,489.26 m²
 管理 直営(業務委託)
 利用形態 直江津祇園祭屋台の保管、貸館施設

・施設の経緯

平成 6 年度 開館
 平成 14 年度 利用者の減少により休館
 平成 17・18 年度 屋台会館前広場で、伝統芸能の披露を実施
 平成 19 年度 有効活用方法検討のため、関係町内会連絡協議会を開催
 平成 20・21 年度 「越後上越 天地人博」の開催
 平成 22 年度 貸館とする準備のため閉館(6 月末まで)
 貸館及び屋台保管施設として開館(7 月から)
 平成 25 年度 会議室を J ホールディングス(株)に事務所貸付(令和元年度末まで)
 令和 3 年度 会議室をスポーツ協会に事務所貸付(令和 4 年 3 月末まで)
 令和 5 年度 会議室を上越観光コンベンション協会に事務所貸付、管理業務を委託

決算書 (P270～P271)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	直江津屋台会館管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
			計 画	実 績
利用者数	21,186 人	26,676 人	25,600 人	52,701 人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	203	447	433	80
	その他	142	137	4,100	4,215
	合計	345	584	4,533	4,295
②支出	施設維持管理費	11,971	16,162	14,291	13,116
	うち委託料	2,765	3,002	3,915	3,653
	うち施設整備工事	4,950	8,253	5,213	5,170
	その他	-	-	-	-
	合計	11,971	16,162	14,291	13,116
③公費投入額 (②-①)		11,626	15,578	9,758	8,821
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		549	584	381	167

○目標達成状況

利用者数は、計画に対して 27,101 人増となり目標を達成することができた。

【事業の成果】

上越観光コンベンション協会や各種団体のイベントのほか、滞在時間や消費額などを調べる社会実験の会場として活用されたことにより、多くの来場者があり、地域の活性化に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・上越観光コンベンション協会や各種団体等と連携し、施設の利用促進や観光情報の発信に取り組む。
- ・施設の利用形態や利用者ニーズの変化に応じて、必要な設備の設置等を検討する必要がある。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 1,175

(単位：千円)

決算書 (P270～P271)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課（令和 7 年度所管は観光振興課）
事業名	金谷山公園管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
62,906	60,030				2,549 (使用料、諸収入)	57,481
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,876					2,876

【目的】

恵まれた自然環境の中で健全な余暇活動の場の提供及び日本スキー発祥の金谷山スキー場や上越市バイシクルモトクロス場（BMX場）を含む金谷山公園を適切に管理する。

令和 7 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 7 年度目標

- ・ボブスレー利用者数 : 11,000 人
- ・スキーリフト利用者数 : 4,000 人
- ・BMX場コース利用者数 : 1,200 人

○実施内容、これまでの経過等

施設の概要

(1) 金谷山スキー場

所在地 大字大貫 595 番地 2

設置年度 昭和 56 年度

施設内容 コース : 3 本、最長滑走距離 640m、そり遊びエリア

リフト : シングル 1 基

管理棟 : 鉄筋コンクリート造 2 階建て 58.00 m²監視所 : 木造 1 階建て 6.55 m²、木造 1 階建て 3.27 m²公衆トイレ : 鉄筋コンクリート造 1 階建て 21.38 m²、木造 1 階建て 28.23 m²

営業期間 令和 8 年 1 月 24 日（土）から 3 月 8 日（日）まで

管 理 直営（業務委託）

利用形態 スポーツ・レクリエーション施設

(2) 金谷山スーパーボブスレー

所在地 大字大貫 595 番地 2

設置年度 昭和 56 年度

施設内容 コース 1 本、延長 450m

営業期間 4 月 19 日（土）から 10 月 26 日（日）までの土曜・日曜・祝日、夏休み期間

管 理 直営（業務委託）

利用形態 スポーツ・レクリエーション施設

決算書 (P270～P271)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課（令和 7 年度所管は観光振興課）
事業名	金谷山公園管理運営費		

(3) 上越市バイシクルモトクロス場（BMX場）

所在地 大字大貫 698 番地 1

設置年度 平成 10 年度

施設内容 コース：延長約 350m

休憩施設：鉄筋コンクリート造 2 階建て 26.39 m²

公衆トイレ：木造 1 階建て 34.78 m²

営業期間 4 月 19 日（土）から 10 月 26 日（日）までの土曜・日曜・祝日、お盆期間

管 理 直営（業務委託）

利用形態 スポーツ・レクリエーション施設

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
			計 画	実 績
ボブスレー	8,794 人	10,204 人	11,000 人	7,950 人
スキーリフト	1,242 人	2,634 人	4,000 人	2,862 人
BMX コース	1,162 人	1,130 人	1,200 人	815 人
合 計	11,198 人	13,968 人	16,200 人	11,627 人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	2,570	3,190	2,944	2,523
	その他	24	35	22	25
	合計	2,594	3,225	2,966	2,548
②支出	施設維持管理費	47,633	55,431	62,906	60,030
	うち委託料	30,024	33,906	37,347	36,769
	その他	-	-	-	-
	合計	47,633	55,431	62,906	60,030
③公費投入額（②－①）		45,039	52,206	59,940	57,482
④利用者 1 人当たりの 公費投入額（単位：円）		4,022	3,738	3,700	4,944

決算書 (P270～P271)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課（令和 7 年度所管は観光振興課）
事業名	金谷山公園管理運営費		

○目標達成状況

- ・ボブスレー利用者は、降雨などにより休業日があったため、目標に対して 3,050 人減となり、目標を下回った。
- ・スキーリフト利用者は、例年より営業日（44 日間）が多かったことから、令和 6 年度比 228 人増となったものの、目標に対しては 1,138 人減となった。
- ・BMX 場コース利用者は、降雨などコースコンディション不良による休業日があったことや、猛暑の影響もあり、目標に対して 385 人減となった。

【事業の成果】

雑木の伐採や草刈りなど施設の適切な管理を行い、良好な景観を維持し、安全で気軽に楽しめる市民の憩いの場を提供した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・老朽化が進む設備等と利用者数の回復が困難な状況を踏まえ、金谷山公園の持続的な維持管理の方法を検討する必要がある。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 2,876

．（単位：千円）

決算書 （P270～P273）	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課（令和 7 年度所管は観光振興課）
事業名	雪国文化村リゾート推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
891,702	891,640			814,700		76,940
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	62			43		19

【目的】

雪だるま高原の施設において安全安心の利用を確保するための適切な施設の維持・整備を行うことにより、スキーを始め年間を通じて野外スポーツ等を楽しめる観光拠点とする。

令和 7 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 7 年度目標

- ・安塚雪だるま高原施設を適切に維持管理し、受入環境の向上を図るとともに、重大事故の発生をゼロとする。
- ・新第 2 リフト建設工事を着実に進め、令和 7 年 12 月に当該リフトの供用を開始する。

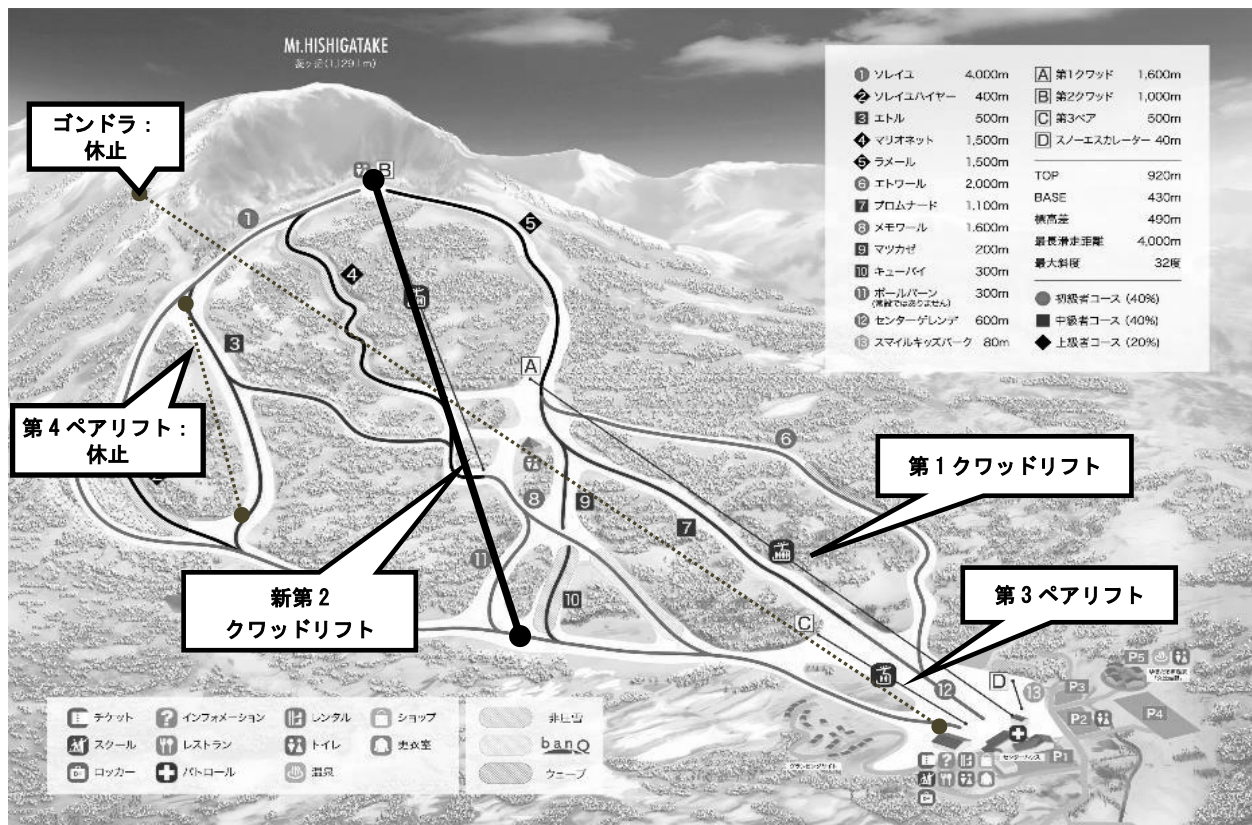
○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	安塚区須川地内
設置	平成 2 年度
施設内容	スキー場 ゲレンデ面積 48ha
索道施設	ゴンドラ 1 基 ※令和 2 年度から休止 リフト 4 基 ※平成 28 年度から第 4 ペアリフト休止
宿泊施設	コテージ：20 棟（管理棟含む）50 室 久比岐野：和室 7 室、洋室 8 室 ※令和 2 年度から休止
体験施設	ふれあい昆虫館 ※令和 2 年度から休止 棚田動植物公園：面積 2ha
温泉施設	久比岐野新館（日帰り温泉）
管理	指定管理
利用形態	スキー場ほか

決算書 (P270～P273)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課（令和 7 年 度所管は観光振興課）
事業名	雪国文化村リゾート推進事業		

【スキー場コース図】



・令和7年度の実施状況

項目	金額	内容
消耗品費	17,084	【第1クワッドリフト】索輪部品 (1,078)、握索機、搬器部品 (6,061)、握索機さらばね (2,211)、押送関連装置部品 (3,410) 【第3ペアリフト】索輪部品 (193)、セーフティーバー新設追加部品 (3,960) 等
修繕料	43,319	【車両関係】圧雪車基本整備 (11,737)、圧雪車修繕 (4,053)、乗用草刈機点検整備・修繕 (1,361)、スノーモービル基本整備・修繕 (1,620)、除雪機車両検査・修繕 (624) 【ビレッジ】玄関ポーチ修繕 (738)、エアコン更新修繕 (834)、屋根修繕 (1,792) 【センターハウス】冷却水ポンプ分解整備修繕 (1,738)、排煙窓修繕 (297)、誘導灯修繕 (117) 【その他】第1クワッドリフト補機減速機及び非常用制動機整備修繕 (9,139)、駐車場舗装修繕 (1,474)、久比岐野線高圧ケーブル更新 (4,609) 等

決算書 (P270～P273)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課（令和 7 年度所管は観光振興課）
事業名	雪国文化村リゾート推進事業		

項目	金額	内 容
通信運搬費	335	W i - F i 回線使用料
手数料	190	除雪機車検手数料 (13)、第 3 ペアリフト変更認可作成費用 (110) 筆耕手数料 (5)、無線局認可登録手数料 (62)
保険料	9	除雪機自賠責保険料
使用料及び 賃借料	4,436	除雪重機等賃借料 (3,520)、A E D 賃借料 (140) 国有林野土地借上料 (776)
工事請負費	824,578	新第 2 リフト建設事業 (778,910)、第 1 クワッドリフト支えい索 交換工事 (35,838) 及び支柱索受装置修繕工事 (4,462)、第 3 ペ アリフト山頂ステージ改修工事 (5,367)
備品購入費	1,522	非破壊探傷検査機器 (583)、乗越し検知器 (133)、救助用具 (806)
負担金	167	燃料費負担金
合計	891,640	

○目標達成状況

- ・経年劣化による施設・設備等の損傷、故障を適切に修繕し、利用客の安全の確保に努めたことで、重大事故の発生をゼロにすることができた。
- ・新第 2 リフト建設事業においては、リフト支柱・山麓山頂駅舎建設工事並びに電気工事等を計画的に実施し、12 月に供用開始することができた。

【事業の成果】

- ・雪だるま高原施設を適切に維持管理したほか、新第 2 リフトの供用開始による輸送能力の向上などにより、令和 6 年度実績 (42,690 人) を上回る 49,660 人 (令和 6 年度比 16.3%増) の利用があった。
- ・施設や設備、機器の定期的な点検と計画的な修繕を実施し、維持管理を適切に行ったことにより施設全体を安全に運営することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・「安塚雪だるま高原施設整備活用基本計画」に基づき、事故防止及び長寿命化のための必要な修繕を適時適切に実施する。
- ・第 1 クワッドリフトは建設から 30 年以上経過し、老朽化による修繕が発生しているため、総点検などの対策を検討する必要がある。
- ・インクルーシブ野外活動の推進に向けて、安全で円滑な活動に必要な環境整備を検討していく。

【執行残額について】

入 札 差 金：修繕及び工事等の入札又は見積合わせに伴う差金 43
そ の 他：事業実施に伴う執行残 19

(単位：千円)

決算書 (P272～P273)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課（令和 7 年度所管は観光振興課）
事業名	大島庄屋の家管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
26,591	24,630			3,000	8,756 (使用料、財産収入、諸収入)	12,874
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,961					1,961

【目的】

豊かな自然と日本の原風景、そこに生きる人々の暮らしや文化をいかした「体験型観光」の受入れを推進することにより、都市部の住民と地域住民との交流を促進し、観光交流による地域経済の活性化を図る。

令和 7 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 7 年度目標

利用者数：3,200 人（うち宿泊 1,200 人、日帰り 2,000 人）

○実施内容、これまでの経過等

施設の概要

所在地 大島区田麦 1096 番地 2

設置 宿泊棟：平成 3 年度 体験棟：平成 5 年度

構造 宿泊棟：鉄筋コンクリート造 2 階建て 体験棟：木造一部 2 階建て

施設内容 宿泊棟：客室 7 室、食堂、浴室 2 室 体験棟：広間、調理体験室、座敷

面積 延床 967.07 m²（宿泊棟 711.56 m²、体験棟 255.51 m²）

管理 直営（業務委託）

利用形態 日帰り及び宿泊施設

○施設の管理実績

・利用者数

区分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
			目標	実績
利用者数	2,628 人	2,364 人	3,200 人	2,204 人
うち宿泊	953 人	962 人	1,200 人	692 人
うち日帰り	1,675 人	1,402 人	2,000 人	1,512 人

決算書 (P272～P273)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課（令和 7 年度所管は観光振興課）
事業名	大島庄屋の家管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	3,103	3,101	4,009	2,437
	その他	8,531	8,569	13,219	6,319
	合計	11,634	11,670	17,228	8,756
②支出	施設維持管理費	25,453	23,447	26,591	24,630
	うち委託料	11,654	11,977	12,899	12,898
	施設の改修・整備費	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
	合計	25,453	23,447	26,591	24,630
③公費投入額（②－①）		13,819	11,777	9,363	15,874
④利用者 1 人当たりの 公費投入額（単位：円）		5,258	4,982	2,926	7,202

○目標達成状況

主な利用者である首都圏の中学校・高校などの合宿や一般宿泊、法要利用が令和 6 年度比約 29.5%減少し、宿泊・日帰りともに目標を下回った。

【事業の成果】

利用者数は目標に達しなかったものの、越後田舎体験での利用は令和 6 年度実績（223 人）を上回る 426 人（令和 6 年度比約 91%）となり、回復の兆しがみられた。また、首都圏の大学生の合宿や大島区とゆかりのある地域との交流事業の実施により、都市住民と地域住民との交流機会の創出につながるなど、地域の活性化に一定の成果があった。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・首都圏の学校等との交流の再開・拡大に向けた働きかけを強化するとともに、大学生を中心とした合宿需要の新規開拓や各種団体のリピーター確保に向けた誘客活動に取り組む。あわせて、季節ごとの独自イベントや宴会等の日帰り利用プランのPRを継続し、利用促進を図る。
- ・施設・設備については、建設から 30 年以上が経過し老朽化が進行していることから、利用者の安全性・利便性の確保を最優先に、計画的な修繕を実施し、適切な維持管理に努める。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 1,961

(単位：千円)

決算書 (P272～P273)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課（令和 7 年度所管は観光振興課）
事業名	牧ふるさと村自然と憩の森管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,571	3,456			1,100	305 (諸収入)	2,051
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	115					115

【目的】

豊かな自然と田舎の生活文化に触れる憩いの場を提供することにより、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

令和 7 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 7 年度目標

利用者数：7,140 人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 牧区池舟 2 番地

設置年度 昭和 53 年度

構造 ふるさとの家：木造 2 階建て

延床面積：214.5 m²

施設内容：厨房、食堂、客間

ふるさとアピール館：木造 2 階建て（鉄筋コンクリート造地下 1 階）

施設内容：厨房、食堂、展示インフォメーションなど

延床面積：417.31 m²

管理 直営（業務委託）

利用形態 体験研修施設

・施設の経緯

ふるさとの家 平成 15 年度から地元団体が施設利用許可を受け、蕎麦屋「木草庵」の営業開始

ふるさとアピール館 平成 27 年度 施設休止

平成 30 年度 地元団体に施設利用許可

令和 6 年度 地元団体の活動休止に伴い利用なし

令和 7 年度 民間事業者による利活用などの検討

決算書 (P272～P273)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課（令和 7 年度所管は観光振興課）
事業名	牧ふるさと村自然と憩の森管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
			計 画	実 績
利用者数	7,300 人	7,092 人	7,140 人	7,328 人
うち木草庵	7,185 人	7,024 人	7,140 人	7,328 人

・施設管理における市の収支状況

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
			予算現額	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-
	その他	447	269	305
	合計	447	269	305
②支出	施設維持管理費	3,695	3,571	3,456
	うち委託料	1,875	1,872	1,872
	その他	-	-	-
	合計	3,695	3,571	3,456
③公費投入額（②－①）		3,248	3,302	3,151
④利用者 1 人当たりの 公費投入額（単位：円）		445	462	430

○目標達成状況

利用者数は、大規模自転車イベントに約 300 人の参加があったことから、計画の 7,140 人に対し、188 人増となり目標を達成することができた。

○地域独自の予算事業 195

沖見地区観光拠点づくり事業（牧区）

【事業の成果】

ふるさとの家では、地元団体が蕎麦屋「木草庵」を運営し、年間 7,000 人を超える利用者数を維持している。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

ふるさとアピール館は地元団体の活動休止に伴い利用がなく、また、ふるさとの家は老朽化していることから、引き続き、施設の在り方について地元団体や関係機関と協議を進めていく。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 115

(単位：千円)

決算書 (P272～P273)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	牧ふれあい体験交流施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,081	878					878
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	203					203

【目的】

地域の特性及び資源を活用した体験型観光施設として、都市部の住民との交流促進を図る。

令和 7 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 7 年度目標

民間事業者による利活用など、施設の在り方について検討する。

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 牧区原 991 番地

設置年度 平成 11 年度

構造 2 階建て(1 階 RC 構造、2 階木造)

施設内容 研修室 1 室、ミーティングルーム 1 室、体験調理室・実習室 1 室、ホール 1 室、ふれあい広場

面積 延床 568.34 m²

管理 直営(業務委託)

利用形態 研修集会施設

・施設の経緯

平成 20 年度 施設の管理業務委託開始

平成 23 年度 地元団体が施設使用許可を受け、高齢者等への配食活動開始

令和 6 年度 地元団体の配食活動終了、施設利用撤退

令和 7 年度 民間事業者による利活用などの検討

○施設の管理実績

・利用者数

区分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
			計画	実績
利用者数	2,102 人	1,698 人	—	304 人

決算書 (P272～P273)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	牧ふれあい体験交流施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	6	3	-	-
	その他	32	34	-	-
	合計	38	37	-	-
②支出	施設維持管理費	2,576	2,835	1,081	878
	うち委託料	1,503	1,816	406	406
	合計	2,576	2,835	1,081	878
③公費投入額 (②-①)		2,538	2,798	1,081	878
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		1,207	1,648	-	2,888

○目標達成状況

地元団体等と意見交換を行い、今後の施設の在り方について方向性を定めることができた。

【事業の成果】

指定緊急避難場所兼指定避難所や投票所としても使用されることから、これらの利用に当たり支障がないよう適切に管理することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

施設の在り方について、引き続き地元団体等と協議を進めていくとともに、サウンディング型市場調査の実施などを検討する。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 203

(単位：千円)

決算書 (P272～P275)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課（令和 7 年度所管は観光振興課）
事業名	道の駅よしかわ杜氏の郷管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
12,294	11,860				228 (使用料、財産収入、 諸収入)	11,632
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	434					434

【目的】

道の駅として適切に施設を維持管理するとともに、地域の特産品や観光情報を発信することにより、交流人口の増加と地域の活性化を図る。

令和 7 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 7 年度目標

利用者数：75,000 人

○実施内容、これまでの経過等

施設の概要

所在地 吉川区杜氏の郷 1 番地

設置 平成 15 年度

施設内容 情報発信施設：木造 1 階建て 218.14 m²

公衆トイレ：木造 1 階建て 69.71 m²

駐車場 265 台

面積 18,691.92 m²

管理 直営（業務委託）

利用形態 道の駅（休憩施設等）

○施設の管理実績

・利用者数

区分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
			計画	実績
利用者数	71,656 人	70,784 人	75,000 人	71,869 人

決算書 (P272～P275)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課（令和 7 年度所管は観光振興課）
事業名	道の駅よしかわ杜氏の郷管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	-	10	10	10
	その他	261	159	240	218
	合計	261	169	250	228
②支出	施設維持管理費	9,962	9,895	12,294	11,860
	うち委託料	4,427	4,786	4,952	4,951
	その他	-	-	-	-
	合計	9,962	9,895	12,294	11,860
③公費投入額（②－①）		9,701	9,726	12,044	11,632
④利用者 1 人当たりの 公費投入額（単位：円）		135	137	161	162

○目標達成状況

広場を活用したイベントなどを実施したものの、目標を達成できなかった。

【事業の成果】

- ・入口木製看板の板面改修を行ったことで、道路通行者からの視認性が向上した。
- ・休止中の乳製品加工施設の一部を新たな情報コーナーとして改修し、情報発信機能を強化した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・「道の駅よしかわ杜氏の郷」ホームページや施設内の情報コーナーを利用し、積極的な情報発信やPRに努めていく。
- ・地域や関係団体等で構成する「道の駅よしかわ杜氏の郷活性化検討会」において、引き続き、当該施設の活性化策を検討していく必要がある。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 434

※道の駅よしかわ杜氏の郷には「吉川ゆったりの郷」も含まれるが、同施設については、観光施設等管理事業に記載していることから、本事業に記載した数値等には含んでいない。

(単位：千円)

決算書 (P274～P275)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	坊ヶ池周辺施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,852	3,747				1,395 (諸収入)	2,352
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	105					105

【目的】

坊ヶ池湖畔公園を適切に維持管理するとともに、地元団体が、休止施設を交流事業などで適切に使用できる状態を確保する。

令和 7 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 清里区青柳 3438 番地

設置年度 山荘京ヶ岳 本館 平成 2 年度

山荘京ヶ岳 新館 平成 6 年度

フォークハウス湖畔 平成元年度

施設内容 山荘京ヶ岳 本館 木造 2 階建て

山荘京ヶ岳 新館 木造 2 階建て (地下：鉄筋コンクリート造)

フォークハウス湖畔 鉄筋コンクリート造 3 階建て

坊ヶ池湖畔公園 炊事場・トイレ

面積 延床 1,903.39 m² (本館 499.44 m²、新館 1,036.05 m²、湖畔 367.9 m²)

管理 直営

開設期間 坊ヶ池湖畔公園 4 月 17 日 (木) から 11 月 27 日 (木) まで

利用形態 公園施設

・施設の経緯

平成 29 年度から「山荘京ヶ岳」、「フォークハウス湖畔」の営業を休止している。その後、地元団体から、イベントや地域交流など地域活性化を目的とした事業を行うため施設使用希望があり、山荘京ヶ岳新館の一部 (大広間・厨房) の使用を許可している。

決算書 (P274～P275)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	坊ヶ池周辺施設管理運営費		

○施設の管理実績

施設管理における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	1,373	1,306	1,563	1,395
	合計	1,373	1,306	1,563	1,395
②支出	施設維持管理費	6,852	3,625	3,852	3,747
	うち委託料	1,683	1,703	1,843	1,843
	その他	-	-	-	-
	合計	6,852	3,625	3,852	3,747
③公費投入額 (②-①)		5,479	2,319	2,289	2,352
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		-	-	-	-

【事業の成果】

施設内設備等の維持管理を適切に実施したほか、地元団体によるカフェの運営や蕎麦まつりなどのイベントの実施により、地域内外との交流が促進された。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

地元団体による施設の利活用を引き続き支援しつつ、今後の利用動向等も踏まえながら、施設の在り方について検討していく。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 105

(単位：千円)

決算書 (P274～P275)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	シーサイドパーク名立管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
12,288	12,121		1,960		1,449 (使用料、諸収入)	8,712
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	167					167

【目的】

名立区の自然をいかした余暇活動や心身の健康の保持及び増進の場として、当施設を適切に維持管理し、周辺施設を含めた利用客の増加を促す。

令和 7 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 7 年度目標

- ・利用者数：5,000 人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	名立区名立小泊 798 番地 1
設置年度	平成 5 年度
施設内容	ビッグボブスレー：全長 470m ローラースライダー：全長 190m ※令和 5 年度から休止 アスレチック：木製 15 基 ※うち 13 基が令和 5 年度から休止 芝生広場：1,200 m ² 展望台：木造地上 2 階地下 1 階建て 299.42 m ² バーベキューハウス：木造 1 階建て 78.67 m ² 休憩棟：木造 1 階建て 57.97 m ² 管理棟：木造 1 階建て 132.2 m ² 等
面積	約 35ha
営業期間	4 月 19 日(土)から 10 月 26 日(日)までの土曜・日曜・祝日 (夏休み期間中は金～日曜・祝日、お盆期間は無休)
管理	直営
利用形態	公園施設

決算書 (P274～P275)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	シーサイドパーク名立管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
			計 画	実 績
利用者数	10,624 人	4,680 人	5,000 人	3,352 人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	3,262	1,942	1,845	1,433
	その他	503	13	1,981	1,976
	合計	3,765	1,955	3,826	3,409
②支出	施設維持管理費	16,664	12,846	12,288	12,121
	うち委託料	1,408	920	1,112	1,111
	その他	-	-	-	-
	合計	16,664	12,846	12,288	12,121
③公費投入額 (②－①)		12,899	10,891	8,462	8,712
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)		1,214	2,327	1,692	2,599

○目標達成状況

猛暑など天候による影響のほか、ローラースライダーや木製アスレチック遊具の一部の使用不能により、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

ビッグボブスレーのコース修繕や遊具の点検など、適切な維持管理に努めた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

利用状況や維持管理経費等を踏まえ、今後の施設の在り方を検討する必要がある。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 167

(単位：千円)

決算書 (P274～P277)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課・観光施設課 (令和 7 年度所管は魅力創造課・観光振興課)
事業名	観光企画費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
76,028	59,400	1,436			136 (都庁)	57,828
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
6,776	9,852	750		121		8,980

【目的】

上越市観光交流ビジョンに掲げた将来のありたい姿を目指し、関係自治体や様々な団体との連携や担い手の育成などにより観光地域づくりを推進する。

令和 7 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

佐渡広域観光誘客事業 4,983

○令和 7 年度目標

「佐渡島(さど)の金山」の世界文化遺産登録によって期待される観光需要の増加を見据え、佐渡市と連携した周遊観光を促進する取組を行い、両市を立ち寄る旅行商品を造成し、観光客の増加を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- (1) 佐渡市・上越市観光・航路連携協議会 (2,013)
 - ・県外からの誘客促進を図るため、信越放送の番組において、上越市及び佐渡市を紹介する放送を行った。
 - ・佐渡市と連携した共同パンフレット「るるぶ特別編集佐渡市・上越市」を発行した。
 - ・小木直江津航路を利用し、両市に立ち寄る又は宿泊を伴う旅行商品を造成した旅行会社に対し、補助金を交付した。
- (2) 上越地域 3 市連携佐渡観光キャンペーン (2,903)

小木直江津航路を利用し、上越市、糸魚川市及び妙高市の宿泊施設に宿泊する人を対象として、宿泊割引と市内店舗で利用できるクーポンを配布する観光キャンペーンを実施した。
- (3) その他 (67)

会議出席旅費等

○目標達成状況

長野県内でのテレビ番組の放送や「るるぶ特別編集佐渡市・上越市」の発行により、両市の観光情報を発信したほか、宿泊割引等を行う観光キャンペーンの実施を通じて、当市への誘客を促進することができた。

決算書 (P274～P277)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課・観光施設課 (令和 7 年度所管は魅力創造課・観光振興課)
事業名	観光企画費		

観光営業事業 351

○令和 7 年度目標

姉妹都市等で開催される観光イベント等に出展し、観光PRを行う。

○実施内容、これまでの経過等

上越観光コンベンション協会と連携し、当市への観光誘客に向けた営業活動を行った。

(1) 姉妹都市や北陸新幹線沿線自治体等での観光PR活動等 (92)

姉妹都市（長野県上田市）や北陸新幹線沿線自治体（石川県金沢市）等で開催されたイベントに参加し、当市の観光PRを実施した。

(2) 上越妙高駅新幹線改札前PRスペースでの情報発信 (151)

改札前PRスペースを活用し、駅利用者に対して、高田城址公園観桜会、高田城址公園観蓮会及び謙信公祭等のPRを行った。

(3) その他事業関係費 (108)

当市PRマスコットキャラクター「上越忠義隊けんけんず」の管理運営を行った。

○目標達成状況

上越観光コンベンション協会や観光事業者と連携し、県内外で行われた観光PRイベントなどに参加し、パンフレット配布や甲冑体験などを通じて当市の歴史・文化を様々な地域で発信した。

各種団体等との連携事業 4,654

○令和 7 年度目標

国内外の観光産業の動向を把握しながら、県内外の関係自治体や観光事業者と連携し、広域的な情報発信や域内周遊の促進に向けた取組を進める。

○実施内容、これまでの経過等

各種協議会等に参画し、県内外の自治体や観光事業者と連携し、効果的な情報発信や広域周遊観光の促進に向けた取組を実施した。

(1) ほくほく線沿線地域振興連絡協議会 (1,228)

ほくほく線に関連するツアーや沿線情報等を「ほくほくマガジンWEB」に掲載し情報発信したほか、大阪等での観光商談会に参加し、沿線地域の紹介やイベント列車のPRを行った。

また、北越急行株式会社及びえちごトキめき鉄道株式会社が共同で実施したコラボスタンプラリーに参加した。

(2) 新潟県観光協会 (1,692)

「にいがた観光ナビ」を活用して県内の観光情報を発信したほか、世界文化遺産「佐渡島の金山」を核として、首都圏の旅行関心層に向けたWEB記事による情報発信や旅行商品の造成等の観光プロモーション等を実施した。

(3) 新潟県インバウンド推進協議会 (131)

令和 7 年 3 月に改定した「新潟県観光立県推進行動計画」に基づき、ガストロノミーや「雪」をいかしたツーリズムをはじめ、地域資源の特性をいかした旅を通じて、東アジア・東南アジアを中心に、本県の課題であるグリーンシーズンの誘客拡大に取り組んだ。

(4) にいがたスキー100年委員会 (166)

県内スキー情報サイト「新潟スノーファンクラブ」やSNSの運営、各種キャンペーンの実施などにより、本県スキーファンの来訪を促進した。

決算書 (P274～P277)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課・観光施設課 (令和 7 年度所管は魅力創造課・観光振興課)
事業名	観光企画費		

(5) 上信越ふるさと街道協議会 (10)

長野県・群馬県・新潟県にまたがる各街道沿線の関係団体が、各地域の魅力を学ぶ視察研修を実施したほか、北陸新幹線敦賀延伸に合わせた福井駅でのイベントにおいて、誘客に向けた情報発信を行った。

(6) 北陸新幹線停車駅都市観光推進会議 (400)

各都市の魅力を伝える冊子やポスターの制作、Y o u T u b e 広告の配信を実施したほか、インフルエンサーによる情報発信を行い、各市の観光 P R を行った。

(7) 日本さくらの会 (10)

国花である「桜」の植栽、育成、保全に取り組むとともに、海外に苗木、種子を贈り、さくらの P R を行った。

(8) 新潟県観光ファンづくり推進協議会 (765)

「にいがた観光ファンクラブ『N i i c l e』」の会員登録者のデータ分析によるニーズにあった情報発信、特典の提供により、会員登録者の周遊を効果的に促した。

(9) 北アルプス日本海広域観光連携会議 (86)

台湾での「日本の観光・物産博」への出展及び台湾旅行会社への営業活動を行ったほか、えちごトキめき鉄道と連携し、サイクルトレインの運行を実施した。

(10) 関東広域観光機構 (100)

欧米豪市場に対し、関東広域エリアの観光コンテンツについて、S N S を通じて情報発信等を行った。

(11) 新潟県スキー観光産業振興協議会 (2)

各種メディアを通じて県内のスキー情報を広く発信したほか、スキー・スノボ販売イベント等に出店し、旅行者誘致に取り組んだ。

(12) 会議出席旅費等 (64)

○目標の達成状況

各種団体等に参画し、各々のニーズに合った情報を発信したほか、県内外の関係自治体や観光事業者と誘客促進に向けた取組を進めた。

観光宣伝物作成事業 11,699

○令和 7 年度目標

観光宣伝物の作成や L I N E アプリを通じたサービス提供に当たっては、読者やサービス利用者の視点に立ち、配色やレイアウトなど、見やすい紙面となるよう工夫する。

決算書 (P274～P277)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課・観光施設課 (令和 7 年度所管は魅力創造課・観光振興課)
事業名	観光企画費		

○実施内容、これまでの経過等

(1) 各種パンフレットの作成 (4,591)

名 称	内 容	作成数
観光総合パンフレット[増刷]	当市の観光情報を提供し、各地域への周遊を促す内容の総合パンフレット	35,000 部
春日山城跡めぐり[増刷]	春日山城跡及び周辺を紹介し、城跡の散策を促す内容のパンフレット	30,000 部
直江津みどころガイド [増刷]	直江津エリアの歴史や観光スポットを紹介し、回遊を促す内容のパンフレット	5,000 部

(2) 高田まちなか回遊マップ作成業務委託料 (435)

高田の中心市街地を歩いて楽しむための観光名所・商店・歴史スポットなどを分かりやすくまとめた散策用マップを作成した。

(3) 観光PR用媒体管理委託料 (2,872)

上越観光N a v i の管理・運営及び観光パンフレットの発送業務を上越観光コンベンション協会に委託し、迅速かつ訴求力のある魅力的な観光PRを行った。

(4) L I N E 管理委託料 (3,210)

L I N E アプリを活用し、市内の観光スポットへの来訪者に対してクーポン配信や観光情報の発信等のサービス提供を行い、来訪時における市内回遊を促進した。

(5) その他事業関係費 (591)

連続テレビ小説「風、薫る」の放送を契機に大関和に関するパネルを作成し、公共施設に設置したほか、第 100 回謙信公祭を記念し「謙信公パンフレット」を作成した。

○目標達成状況

来訪者の目線で分かりやすいパンフレットを作成するなどして、当市への誘客と市内回遊を促進することができた。

上越地域連携事業 2,000

○令和 7 年度目標

上越地域の観光資源を組み合わせることで地域全体の魅力を強化し、広域周遊観光を促すことで、更なる誘客促進を図る。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 上越地域広域観光情報誌作成委託料 (900)

広域観光情報誌「ニイガタしっぽ旅」を年 2 回発行し、県内外へ上越地域の豊かな自然や食、観光イベントなどの様々な魅力を発信した。

(2) 「上越地域SEA TO SUMMIT」の開催 (1,100)

上越地域のアウトドアイメージの確立と誘客促進を図るため、株式会社モンベルの環境スポーツイベント「糸魚川・上越・妙高SEA TO SUMMIT」を県と 3 市で連携し開催した。

決算書 (P274～P277)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課・観光施設課 (令和 7 年度所管は魅力創造課・観光振興課)
事業名	観光企画費		

○目標達成状況

上越地域の様々な魅力を掲載した観光情報誌の発行や 3 市をつなぐスポーツイベントを実施したことで、上越地域として誘客を促進することができた。

灯の回廊事業 4,200

○令和 7 年度目標

入込数：20,000 人

○実施内容、これまでの経過等

開催日 令和 8 年 2 月 21 日（土）、28 日（土）

会場 牧区、高土区、名立区、三和区（21 日）

安塚区、大島区、浦川原区（28 日）

主催 まき深山のともしび実行委員会、高土地区雪まつり実行委員会、輝く里不動の会、三和の自然と地域を育む会、安塚キャンドルロード実行委員会、大島雪ほたるロード実行委員会、うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会、上越市

事業内容 市内 7 地区を会場に、上越市の冬のイベントとして雪灯りイベントを開催した。

・開催内容

実施地区 7 地区、キャンドル設置：19 か所、茶屋開設：14 か所

・経費の内訳

消耗品（ろうそく、紙コップ） (2,352)

ポスター・パンフレット作成 (594)

郵送料・運搬料 (634)

バス運行業務委託料 (616)

手数料 (4)

・入込数の推移

令和5年度	令和6年度	令和7年度
16,800人	13,700人	18,230人

○目標達成状況

目標入込数は達成できなかったが、令和 6 年度と比較してすべての地区において入込数が増加した。

決算書 (P274～P277)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課・観光施設課 (令和 7 年度所管は魅力創造課・観光振興課)
事業名	観光企画費		

謙信公のふるさと振興事業 25,791

○令和 7 年度目標

企画展「越後上越 謙信公と春日山城展」入込数：24,000 人（6 年度見込…23,000 人）

○実施内容、これまでの経過等

(1) 「謙信公戦国絵巻館」の運営 (917)

- ・上越市埋蔵文化財センター内で開催していた企画展「越後上越 謙信公と春日山城展」は、会場を表現する名称がなかったことから、令和 7 年 10 月より、この一面を「謙信公戦国絵巻館」と呼称することとし、展示スペースの拡張を行った。
- ・地図アプリへの名称及び概要の掲載を行うとともに、新たにのぼり旗を設置し、誘客の強化を図った。
- ・春日山観光の拠点として、謙信公の生涯を紹介するパネルやゆかりの品のほか、新たに謙信公にゆかりのある武将の甲冑等を展示し、春日山城を中心に戦国時代の歴史を紹介した。
- ・春日山地域の観光振興等に向けた収入確保を目指し、上越観光コンベンション協会が主体となる協力金の創設に向けた連携を行った。
- ・入込数

令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
26,555 人	23,362 人	26,913 人

(2) 「越後上越 上杉おもてなし武将隊」運營業務委託料 (24,874)

- ・春日山城跡や謙信公戦国絵巻館等において、観光案内や写真撮影などのおもてなしを行った。
- ・市内外のイベント出演による観光PRや、SNSへの投稿を通じて「謙信公のふるさと・上越市」を印象づけるとともに、観光情報を全国に発信し誘客促進を図った。

○目標達成状況

入込数は、令和 6 年度と比較して 3,551 人の増加となり、目標に対する達成率は 112%となった。

信越トレイル利用促進事業 28

○令和 7 年度目標

信越トレイルの測定可能な箇所での利用者数:2,500 人

○実施内容、これまでの経過等

- ・信越トレイルコースと市内観光施設への利用者増加につなげるため、上越観光Naviによる情報発信やパンフレットを配置するなどPRを行った。
- ・利用者数の推移

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数	2,577人	2,423人	1,758人

○目標達成状況

上越観光Naviによる情報発信やパンフレットを配置するなどPRを行ったが、全国的なクマの目撃情報や高温の影響により利用者数が減少し、目標を達成することができなかった。

決算書 (P274～P277)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課・観光施設課 (令和 7 年度所管は魅力創造課・観光振興課)
事業名	観光企画費		

インバウンド推進事業 2,707

○令和 7 年度目標

インバウンド需要の高まりを好機と捉え、台湾現地旅行者や妙高市に来訪する欧米豪を中心とした外国人旅行者にプロモーションを行い、当市への誘客を促進するほか、市内観光事業者等が行う受入環境の整備を支援する。

○実施内容、これまでの経過等

(1) インバウンドアドバイザー (171)

インバウンド関連事業に実績と知見があるアドバイザーを招へいし、市内事業者を対象とした情報交換会やセミナーにおいて、事例紹介や助言を受けた。

(2) インバウンド誘客促進事業委託料 (1,648)

- ・国内商談会において海外の旅行会社と商談を行ったほか、台湾の現地旅行者へのプロモーションを行った。
- ・妙高市の宿泊施設や観光施設と連携し、チラシや雑誌広告、SNSによる当市の観光情報等の発信を行い、スノーレジャーに訪れる外国人旅行者の誘客を図った。

(3) 上越市インバウンド推進事業補助金 (800)

市内事業者に対し、外国人旅行者向けの英語パンフレットやウェブサイトの作成等に要する費用を補助し、当市への誘客促進と滞在しやすい環境づくりを支援した。

(4) その他事業関係費 (88)

○目標達成状況

海外の旅行会社に対して商談等を行うことで、将来的な旅行商品造成のきっかけをつくることのできたほか、補助金の交付により、市内観光事業者等のインバウンド受入環境整備を促進することができた。

観光地域づくり実践事業 907

○令和 7 年度目標

来訪者へのおもてなしや観光コンテンツ造成を推進し、観光の担い手による更なる事業展開を促す。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 観光地域づくり実践未来塾 (411)

取組に役立つ知識や技術の習得に資するセミナーを 3 回実施したほか、民間事業者と連携したイベントを 1 回実施した。

(2) 観光地点パラメータ調査 (496)

市内を訪れた観光客を対象にアンケートを行い、属性別の構成比（出発地、宿泊客・日帰り客等）や訪問地点数等について聞き取り調査を実施した。

○目標達成状況

様々なテーマの観光地域づくり実践未来塾を開催することにより、観光をけん引する担い手が知識や技術を習得する機会を創出した。

決算書 (P274～P277)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課・観光施設課 (令和 7 年度所管は魅力創造課・観光振興課)
事業名	観光企画費		

地域独自の予算事業 2,080

- ・上杉軍出陣式維持保存事業（春日区）(338)
- ・山鳥毛・謎解き 謙信公の推し刀たち！事業（春日区）(512)
- ・謙信公生誕 500 年に向けた機運醸成事業（春日区）(70)
- ・そば畑おためしオーナー制度事業（春日区）(102)
- ・上越妙高駅賑わいづくり環境整備事業（和田区）(52)
- ・くびき野サイクルロゲイニング in 直江津事業（直江津区）(52)
- ・直江津写真フェア事業（直江津区）(355)
- ・名立区の魅力を創造し発信する事業（名立区）(599)

【事業の成果】

- ・佐渡広域観光誘客事業では、「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録を契機に、糸魚川市、妙高市と連携した市内宿泊割引等を行う観光キャンペーンを実施したことにより、当市への誘客と市内消費の拡大につながった。
- ・各種宣伝物の作成においては、来訪者の目線で分かりやすいパンフレット等を作成し、配布・設置したことで、当市への誘客と市内回遊を促進することができた。
- ・謙信公のふるさと振興事業では、マーケティングの視点を用いて謙信公戦国絵巻館の改善を行ったことで、アンケートの回答で「満足」が約 97%となり、うち「非常に満足」が 66%を占め、それぞれ令和 6 年度を上回った。武将隊によるおもてなしの効果もあり、来訪者の高い満足度を得られた。
- ・謙信公戦国絵巻館の名称を設定したことで、インターネットで同館を知って来場した人の割合が最も多くなった。
- ・妙高市の宿泊施設や観光施設と連携し、チラシや雑誌広告による情報発信を行ったことで市内への回遊につながった。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・観光総合パンフレットは、発行から 12 年が経過しており、主にエリア別の施設紹介等が中心となっているが、市全体の魅力や歴史文化が一体的に伝わりにくいため、今後、リニューアルに向けた検討を進める。
- ・今後更なる増加が見込まれる外国人旅行者の受入れに対応するため、多言語対応や情報発信の強化、観光事業者の受入環境整備などを一層推進していく。
- ・謙信公戦国絵巻館は来訪者から高い満足度を得ている一方で、展示内容が長期間大きく変わっていないことから、リピーターの獲得や新たな誘客につながるよう、展示物の更新や企画展示の充実を検討する。

【執行残について】

事業費節減：観光宣伝物作成事業に係る委託内容見直しに伴う執行残 750

入札差金：観光宣伝物作成事業に係る委託料及び灯の回廊事業に係る印刷製本費の入札差金 122

その他：「越後上越 おもてなし武将隊」事業に係る委託料、佐渡広域観光誘客事業における宿泊割引及びクーポンによる利用実績、灯の回廊事業に係る事務経費、地域独自の予算事業補助金等が当初見込みを下回ったこと等による執行残 8,980

(単位：千円)

決算書 (P276～P277)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度所管は観光振興課）
事業名	越後田舎体験推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,790	9,594				2,147 (諸収入)	7,447
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	196					196

【目的】

当市の豊かな自然、農山漁村の地域資源とそこに生きる人々の暮らしをいかした体験型観光を推進し、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

令和 7 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 7 年度目標

受入数 28 団体、2,200 人、3,500 泊

○実施内容、これまでの経過等

- ・事業主体 越後田舎体験推進協議会
- ・市内受入地域 安塚区、浦川原区、大島区、牧区、柿崎区、大潟区、吉川区、板倉区、清里区及び三和区（10 区）
- ・実施内容
 - (1) 受入体制の維持・強化に係る取組
受入地域開拓のための周知、勧誘活動
 - (2) 各種営業活動
首都圏、関西圏、県内他市、近隣県の旅行代理店や学校等へ営業訪問

○目標達成状況

- ・教育旅行の動向の変化などにより定期利用団体が減少し、目標を達成することができなかった。
- ・越後田舎体験受入数の推移

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
団体数（団体）	27	24	18
人数（人）	1,525	1,846	893
宿泊数（泊）※延べ宿泊数	3,316	2,979	1,180

決算書 (P276～P277)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課（令和 7 年 度所管は観光振興課）
事業名	越後田舎体験推進事業		

【事業の成果】

受入数の目標は達成することができなかったが、首都圏をはじめとする学校や企業等に対し、ものづくり体験や農業など、様々な体験を提供することを通じて、受入地域の魅力を発信することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・民泊受入家庭の高齢化が進んでいることから、新たな受入家庭の確保や農家民宿の利用など、受入れ体制の充実を図る必要がある。
- ・教育旅行の動向を踏まえた探求学習等のプログラムの充実や訪日外国人客の受入れに向け、体験プログラムの造成を進める必要がある。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 196

(単位：千円)

決算書 (P276～P279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課・観光推進課 (令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
140,813	132,123		3,165		6,741 (使用料、財産収入、 諸収入等)	122,217
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	8,690					8,690

【目的】

市内観光施設を適切に維持管理することにより、当市の豊かな自然と歴史文化に触れる場を提供し、観光誘客と地域振興を図る。

令和 7 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 7 年度目標

各公園や海水浴場等の観光施設を適切に維持管理し、受入環境の向上を図るとともに、施設の瑕疵に起因する重大事故の発生をゼロとする。

○実施内容、これまでの経過等

<合併前上越市> 76,848

[主な維持管理施設]

春日山城跡(駐車場、公衆トイレ)、愛の風公園、愛宕谷公園、親鸞聖人上陸の地、鏡ヶ池公園、前島記念公園、芳沢記念公園、寺町駐車場、寺町三丁目公衆トイレ、国分寺駐車場・公衆トイレ、居多神社前駐車場・公衆トイレ、南高田駅駐輪場・公衆トイレ、林泉寺駐車場・公衆トイレ、浄興寺公衆トイレ、高田駅前公衆トイレ、直江津駅前公衆トイレ、西ヶ窪浜公衆トイレ、心のふるさと道、南葉山登山道、なおえつ海水浴場、たにはま海水浴場、谷浜跨線橋、上越妙高駅観光案内所及び商業施設、直江津駅前観光案内所、高田駅前観光案内所、観光案内看板、公衆無線LAN

[維持管理経費]

報酬 2,182 (会計年度任用職員報酬)
 職員手当等 152 (会計年度任用職員期末・勤勉手当)
 共済費 93 (会計年度任用職員共済組合負担金 61、雇用保険料 32)
 旅費 58 (会計年度任用職員費用弁償 58)
 需用費 14,978 (消耗品費 885、光熱水費 7,202、修繕料 6,891)
 役務費 2,643 (電信電話料 948、手数料 1,695)
 委託料 47,141 (看板作成委託料 198、施設管理委託料 4,677、公園管理委託料 2,014、公衆便所浄化槽及び清掃維持管理委託料 7,242、車両誘導委託料 3,080、海水浴場事業委託料 15,602、観光案内板差替委託料 825、海岸清掃等業務委託料 13,503)
 使用料及び賃借料 5,187 (上越妙高駅観光案内所及び商業施設用地借上料等)

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光施設課・観光推進課 (令和7年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等整備事業		

工事請負費 3,746 (施設整備工事)
 備品購入費 441
 負担金補助及び交付金 227 (たにはま海水浴場臨海学校受入整備事業補助金等)

<安塚区> 1,133

[主な維持管理施設]

直峰城跡 (公衆トイレ)、信越トレイル、観光案内看板

[維持管理経費]

旅費 46 (普通旅費)
 需用費 37 (消耗品費 7、光熱水費 26、修繕料 4)
 役務費 4 (浄化槽検査手数料)
 委託料 386 (公園等管理委託料)
 使用料及び賃借料 660 (雪だるま高原及び観光看板用地借地料)

<浦川原区> 1,012

[主な維持管理施設]

霧ヶ岳公園 (屋外トイレ、駐車場)、観光案内看板

[維持管理経費]

需用費 132 (光熱水費)
 役務費 9 (浄化槽検査手数料)
 委託料 665 (施設管理委託料 287、浄化槽維持管理委託料 378)
 使用料及び賃借料 206 (土地借地料)

<牧区> 1,549

[主な維持管理施設]

弘法清水自然公園、信越トレイル接続道 (宇津ノ俣峠)、観光案内看板

[維持管理経費]

需用費 38 (消耗品費 2、光熱水費 36)
 役務費 171 (水質検査手数料)
 委託料 1,266 (公園等管理業務委託料)
 使用料及び賃借料 74 (弘法清水公園用地、看板用地借地料)

<柿崎区> 16,606

[主な維持管理施設]

柿崎中央海水浴場 (駐車場、公衆トイレ)、大出口公園 (公衆トイレ)、坂田池園地 (駐車場、遊歩道、公衆トイレ)、米山山頂避難小屋・トイレ、米山登山道、下牧休憩施設、米山寺トイレ、上下浜温泉源泉施設、観光案内看板

[維持管理経費]

報酬 36 (草刈作業報奨金等)
 需用費 6,200 (消耗品費 28、光熱水費 812、修繕料 5,360)
 役務費 103 (トイレ汲み取り手数料 86、浄化槽検査手数料ほか 17)
 委託料 9,118 (海水浴場事業委託料 5,479、観光施設清掃整備委託料等 3,639)
 使用料及び賃借料 298 (観光施設用地借地料)
 原材料費 25 (補修資材等)
 諸団体負担金 826 (米山山頂トイレ便器・便槽保護カバー改修工事に係る負担金)

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光施設課・観光推進課 (令和7年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等整備事業		

<大潟区> 6,433

[主な維持管理施設]

鵜の浜海水浴場(海岸、公衆トイレ)、キャンプ場トイレ、人魚伝説公園、観光案内看板

[維持管理経費]

需用費 349(消耗品費12、光熱水費238、修繕料99)
 役務費 93(トイレ汲み取り手数料等)
 委託料 5,542(海水浴場事業委託料5,447、観光施設清掃・整備委託料95)
 使用料及び賃借料 448(看板用地借地料326、下水道使用料122)

<頸城区> 5,684

[主な維持管理施設]

大池いこいの森(キャンプ場、遊歩道、駐車場、公衆トイレ、観光案内看板等)

[維持管理経費]

需用費 1,583(消耗品費20、光熱水費272、修繕料1,290)
 役務費 218(トイレ汲み取り手数料等)
 委託料 3,163(公園等管理委託料3,078、公衆トイレ浄化槽維持管理委託料85)
 使用料及び賃借料 719(大池いこいの森施設用地等借地料633、集落排水使用料86)
 補償、補填及び賠償金 1(大池いこいの森等踏荒補償料)

<吉川区> 2,756

[主な維持管理施設]

長峰池公園(駐車場、遊歩道、公衆トイレ)、尾神岳遊歩道・展望台、パラグライダー用地、パノラマハウス、尾神岳公衆トイレ、観光案内看板

[維持管理経費]

需用費 726(消耗品費8、光熱水費146、修繕料572)
 役務費 48(浄化槽検査手数料26、トイレ汲み取り手数料22)
 委託料 1,702(公園等管理委託料1,365、公衆便所・浄化槽及び清掃維持管理委託料337)
 使用料及び賃借料 241(観光施設等用地借地料)
 原材料費 39(補修資材等)

<中郷区> 6,906

[主な維持管理施設]

泉縄文公園(駐車場、公衆トイレ)、桜並木、松ヶ峯温泉源泉施設、松ヶ峯公衆トイレ

[維持管理経費]

報酬 689(公衆トイレ及び温泉施設、泉縄文公園会計年度任用職員報酬)
 需用費 1,628(消耗品費51、光熱水費1,522、修繕料55)
 役務費 85(手数料8、源泉監視カメラ通信料77)
 委託料 4,149(公園等管理業務委託料2,680、松ヶ峯温泉源泉ガスセパレーター清掃業務委託料616、道路脇支障木伐採等業務委託料708、公衆トイレ浄化槽及び清掃維持管理委託料145)
 使用料及び賃借料 156(観光案内看板用地借地料143、下水道使用料13)
 補償、補填及び賠償金 200(損害賠償金)

決算書 (P276～P279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課・観光推進課 (令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等整備事業		

<板倉区> 4,963

[主な維持管理施設]

光ヶ原観光総合施設、箕冠城址公園、山寺薬師公衆トイレ、聖の窟、玄藤寺湖畔公園、信越トレイル接続道(光ヶ原、筒方峠、久々野峠)、観光案内看板

[維持管理経費]

需用費 865 (消耗品費 45、燃料費 143、光熱水費 302、修繕料 375)

役務費 138 (電信電話料 32、手数料 106)

委託料 2,931 (施設管理委託料 1,981、各公園等管理委託料 640、公衆便所浄化槽及び清掃維持管理委託料 310)

使用料及び賃借料 1,029 (自動車借上料 275、用水使用料 100、土地借上料 654)

<清里区> 429

[主な維持管理施設]

信越トレイル接続道(梨平峠)

[維持管理経費]

委託料 429 (観光施設清掃・整備委託料)

<三和区> 152

[主な維持管理施設]

東部緑地公園、観光案内看板

[維持管理経費]

委託料 151 (公園管理委託料)

使用料及び賃借料 1 (観光看板用地等借上料)

<名立区> 319

[主な維持管理施設]

不動山登山道、観光案内看板

[維持管理経費]

委託料 319 (不動山登山道整備業務委託料)

○目標達成状況

各観光施設を適切に維持管理することで、利用者の受入環境を整備するとともに、観光誘客と地域振興につなげることができた。

地域独自の予算事業 7,333

- ・坂田池園地桜植替え事業(柿崎区)(560)
- ・大池いこいの森施設運営事業(頸城区)(4,392)
- ・大池のキャンプ場を活かし、遊歩道から山城巡回を楽しむ事業(頸城区)(526)
- ・ベースキャンプ in 光ヶ原高原(光ヶ原高原活性化)事業(板倉区)(1,855)

【事業の成果】

施設の清掃や遊具の点検などを実施したほか、破損個所を適切に修繕したことで、重大事故もなく、安全・安心で快適な利用環境を提供することができた。

決算書 (P276～P279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課・観光推進課 (令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等整備事業		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

施設の点検や危険個所の修繕、草刈り等を実施することで、安全かつ快適に利用してもらうとともに、施設の長期的な利用を図る必要がある。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 8,690

(単位：千円)

決算書 (P278～P279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
412,398	401,250			76,600	442 (諸収入)	324,208
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	11,148					11,148

【目的】

市内の観光施設を適切に管理するとともに、民間のノウハウを導入することにより施設の魅力向上を図り、観光の活性化と市民の安らぎや憩いの場を提供する。

令和 7 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 7 年度目標

指定管理者制度導入 11 施設の利用者数 789,652 人

※指定管理者から提出された事業計画書に基づく利用者数

○施設の管理実績

・利用者数(指定管理者制度導入 11 施設の利用者数)

区分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
			計画	実績
利用者数	718,217 人	701,661 人	792,300 人	759,584 人

指定管理者制度導入施設 11 施設

- (1) 五智歴史の里会館
- (2) リフレッシュビレッジ施設(ヨーデル金谷)
- (3) 安塚雪だるま高原
- (4) 牧湯の里深山荘
- (5) 柿崎マリンホテルハマナス
- (6) 大潟健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館
- (7) 吉川スカイトピア遊ランド
- (8) 吉川ゆったりの家
- (9) 板倉保養センター
- (10) ぬしんの里記念館
- (11) うみてらす名立

直営(業務委託) 1 施設

リフレッシュビレッジ施設(ゆったりの家)

民間事業者への無償貸付け 1 施設

リフレッシュビレッジ施設(くわどり湯ったり村)

決算書 (P278～P279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

※収支状況内の区分説明

- ・再算定による増減額：新型コロナウイルス感染症の影響等があった指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増減した額
- ・エネルギー価格高騰補填金：エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの
- ・令和 6 年能登半島地震損害補填金：令和 6 年能登半島地震の影響による損害の協議申し入れがあった指定管理施設について、損害額を算定し補填したもの

(1) 五智歴史の里会館

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	国府 1 丁目 18 番 28 号
設置年度	平成 19 年度
構造	木造
面積	延床 240 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 19 年度
指定管理者	五智歴史の里協議会
指定の期間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
			計 画	実 績
利用者数	12,920 人	12,910 人	16,700 人	13,130 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	修繕料	-	-	206	205
	五智歴史の里会館 管理運営委託料	5,857	6,250	6,322	6,322
	エネルギー価格高騰 補填金	113	-	-	-
	その他	481	253	-	-
	合計	6,451	6,503	6,528	6,527
③公費投入額 (②－①)		6,451	6,503	6,528	6,527
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)		499	504	391	497

決算書 (P278～P279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実績
①収入	利用料金収入	-	-	-	-
	五智歴史の里会館 管理運営委託料	5,857	6,250	6,250	6,250
	エネルギー価格高騰 補填金	113	-	-	-
	その他	843	887	885	995
②支出		6,856	7,227	6,943	7,249
差引 (②-①)		△43	△90	192	4

(2) リフレッシュビレッジ施設

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

ヨーデル金谷

所在地 大貫 2 丁目 17 番 40 号
 設置年度 平成 11 年度
 構造 鉄骨造
 面積 延床 400 m²
 管理 指定管理

ゆったりの家

所在地 大字横畑 659 番地
 設置年度 平成 14 年度
 構造 木造
 面積 延床 154 m²
 管理 直営管理

くわどり湯ったり村

所在地 大字皆口 601 番地
 設置年度 平成 11 年度
 構造 鉄筋コンクリート造
 面積 延床 2,524 m²
 管理 民間事業者 (令和 6 年度をもって公の施設としては廃止)

・指定管理の状況

ヨーデル金谷	導入開始年度	平成 18 年度
	指定管理者	株式会社ミーナハライペ
	指定の期間	令和 7 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日まで

・民間事業者の状況

くわどり湯ったり村	貸付開始年度	令和 7 年度
	貸付先	株式会社ゆめ企画名立
	貸付の期間	令和 7 年 4 月 1 日から令和 17 年 3 月 31 日まで

決算書 (P278～P279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
			計 画	実 績
ヨーデル金谷	22,105 人	23,891 人	23,000 人	24,893 人
ゆったりの家	30 人	0 人	0 人	0 人
くわどり湯ったり村	27,716 人	26,668 人	28,833 人	24,356 人
うち宿泊	982 人	1,713 人	2,000 人	1,992 人
うち日帰り温浴	15,813 人	14,588 人	17,833 人	13,884 人
うち食堂	10,236 人	8,852 人	9,000 人	8,480 人
合 計	49,851 人	50,559 人	51,833 人	49,249 人

・指定管理者制度導入施設（ヨーデル金谷）における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	修繕料	29,142	19,102	2,997	2,024
	リフレッシュビレッジ 施設管理運営委託料	64,104	47,779	4,950	4,950
	再算定による 増減額	△6,678	△642	-	-
	工事請負費	1,584	-	-	-
	施設購入費	2,617	-	-	-
	備品購入費	2,000	2,018	1,214	1,213
	エネルギー価格高騰 補填金	-	-	-	-
	令和 6 年能登半島地 震損害補填金	288	-	-	-
	清算補助金	55,927	-	-	-
	その他	235	189	50	40
合計		155,897	69,088	9,211	8,227
③公費投入額（②－①）		155,897	69,088	9,211	8,227
④利用者 1 人当たりの 公費投入額（単位：円）		3,127	1,366	400	330

決算書 (P278～P279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況（ヨーデル金谷）

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	47,630	54,201	53,000	62,357
	リフレッシュビレッジ 施設管理運営委託料	6,925	4,416	4,200	4,200
	再算定による 増減額	555	△584	-	-
	エネルギー価格高 騰補填金	-	-	-	-
	令和 6 年能登半島 地震損害補填金	109	-	-	-
	その他	35	2	-	-
②支出		52,724	53,513	56,920	60,291
差引（①－②）		1,975	5,106	280	6,266

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・SNSの活用により誘客を図ったほか、経理事務の改善などによる業務効率化を図った。

○補助金等の交付状況

補助金等	交付額
くわどり湯ったり村運営費等補助金（株式会社ゆめ企画名立）	41,000
くわどり湯ったり村設備更新等補助金（株式会社ゆめ企画名立）	13,925
合 計	54,925

(3) 安塚雪だるま高原

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

キューピットバレイスキー場

所在地 安塚区須川 4820 番地

設置年度 平成 2 年度 ※平成 11 年度に民間事業者から譲り受け、公の施設として管理

構造 鉄骨造(センターハウス、ゴンドラ、リフト)、木造(ビレッジ)

面積 延床 14,587 m²(センターハウス、ビレッジ等)

管理 指定管理

棚田動植物公園

所在地 安塚区須川 11584 番地

設置年度 平成 15 年度

管理 指定管理

ゆきだるま温泉久比岐野

所在地 安塚区須川 2352 番地

設置年度 平成 2 年度

構造 木造

面積 延床 1,630 m²

管理 指定管理

決算書 (P278～P279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 16 年度
指定管理者	株式会社スマイルリゾート
指定の期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
			計 画	実 績
キューピットバレイスキー場	60,328 人	46,018 人	69,710 人	57,461 人
うちスキー場利用	55,550 人	42,690 人	65,000 人	49,660 人
うちビレッジ宿泊	1,340 人	822 人	710 人	694 人
棚田動植物公園	544 人	585 人	1,400 人	325 人
うちキャンプ宿泊	367 人	322 人	400 人	126 人
ゆきだるま温泉久比岐野	9,138 人	7,748 人	11,200 人	9,991 人
合 計	70,010 人	54,351 人	82,310 人	67,777 人

※湯水に伴う温浴施設の無料開放（7 月 31 日～8 月 24 日）の利用人数は 1,095 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実 績
①収入		-	1,728	-	-
②支出	安塚雪だるま高原 管理運営委託料	33,847	39,306	28,306	28,306
	再算定による 増減額	△4,046	-	-	-
	その他委託料	3,547	3,457	225	202
	備品購入費	-	-	263	88
	エネルギー価格高騰 補填金	6,751	-	-	-
	令和 6 年能登半島 地震損害補填金	6,631	-	-	-
	その他	149	-	459	276
	雪国文化村リゾート 推進事業	235,421	802,767	891,702	891,640
	施設の改修・整備	132,500	691,400	778,910	778,910
合計		286,346	845,530	920,955	920,512
③公費投入額（②－①）		286,346	843,802	920,955	920,512
④利用者 1 人当たりの 公費投入額（単位：円）		4,090	15,525	11,189	13,581

決算書 (P278～P279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	78,134	59,294	102,212	89,888
	安塚雪だるま高原 管理運営委託料	30,770	35,733	25,733	25,733
	再算定による 増減額	2,527	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	6,751	-	-	-
	令和 6 年能登半島 地震損害補填金	6,631	-	-	-
	湧水対策無料開放補 填金	-	-	-	454
	その他	82,225	77,770	107,982	74,775
②支出		214,105	194,281	235,509	210,450
差引 (①-②)		△9,594	△21,484	418	△19,600

※金額は全て税抜き

○指定管理者による収支改善等の取組

夏期営業

アウトドア初心者向けにキャンプ場とコテージをセットにした宿泊プランや、割安な料金設定のコテージ素泊まりプランのほか、ペット愛好家向けにペット同伴宿泊プランを販売した。

冬期営業（スキー場営業）

新第 2 リフト完成記念として、広報上越に市民限定割引券を掲載したほか、市内小中学生を対象にリフト優待券を配布した。また、ツリーランエリアの復活やナイター営業を実施し、利用者数の増加を図った。

○インクルーシブ野外活動推進事業 566

- ・ハンディキャップを持つ人も、家族や友人と同じ野外活動を楽しむことができるようにするため、スキー授業において支援を必要とする児童・生徒がいる学校にコーディネーターを派遣するなど、受入調整を行った。
- ・また、指導員の育成や学校スキー授業実証実験など、これまでのインクルーシブ野外活動推進事業に関する取組を市内外に広く公表するため、シンポジウムを開催した。
- ・年度別の主な事業実施状況

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
主な事業内容	・人材養成講座の開催 ・ニーズ調査	同左	・シンポジウムの開催 ・学校スキー受入調整 業務委託
実証事業学校数	4 校	7 校	5 校
対象児童（生徒）数	6 名	12 名	14 名

決算書 (P278～P279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

(4) 牧湯の里深山荘

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 牧区宇津俣 285 番地
 設置年度 昭和 61 年度
 構造 鉄筋コンクリート造
 面積 延床 2,929 m²
 管理 指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 27 年度（平成 27 年 10 月 1 日から）
指定管理者	株式会社太平堂
指定の期間	令和 7 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
			計 画	実 績
利用者数	19,397 人	19,100 人	20,530 人	20,804 人
うち宿泊	1,662 人	1,848 人	1,800 人	1,703 人
うち日帰り温浴	7,321 人	6,112 人	7,400 人	8,345 人
うち食堂	3,560 人	3,429 人	3,700 人	3,129 人

※湯水に伴う温浴施設の無料開放（7 月 31 日～8 月 24 日）の利用人数は 2,554 人

・指定管理制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実 績
①収入		-	-	-	338
②支出	修繕料	3,527	3,415	3,828	3,589
	牧湯の里深山荘 管理運営委託料	18,570	17,325	17,501	17,501
	再算定による 増減額	△1,975	-	-	-
	その他委託料	-	299	-	-
	使用料及び賃借料	362	296	299	297
	工事請負費	-	400	-	-
	備品購入費	118	-	-	-
	令和 6 年能登半島 地震補填金	160	-	-	-
	その他	94	171	166	164
合計		22,831	21,906	21,794	21,551
③公費投入額（②－①）		22,831	21,906	21,794	21,213
④利用者 1 人当たりの 公費投入額（単位：円）		1,177	1,146	1,062	1,020

決算書 (P278～P279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	36,196	42,873	41,697	40,916
	牧湯の里深山荘 管理運営委託料	16,882	16,113	15,910	15,910
	再算定による 増減額	△1,289	-	-	-
	令和 6 年能登半島 地震補填金	160	-	-	-
	湧水対策無料開放補 填金	-	-	-	1,071
	その他	1,726	377	1,268	1,006
②支出		53,165	55,952	57,524	58,527
差引 (①-②)		1,799	3,411	1,351	376

※金額は全て税抜き

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・地元の地域団体や深山荘ファンクラブと連携したイベントや季節の行事等、施設の利用促進に資する事業を行った。
- ・地元農業団体から山菜や野菜等を仕入れることで、地産地消を推進するとともに、市場から直接仕入れ、中間コストの削減に努めた。

(5) 柿崎マリンホテルハマナス

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 柿崎区上下浜 262 番地
 設置年度 平成 6 年度
 構造 鉄筋コンクリート造
 面積 延床 1,992 m²
 管理 指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	ネクストリゾート上越株式会社
指定の期間	令和 7 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日まで

決算書 (P278～P279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
			計 画	実 績
利用者数	12,672 人	12,194 人	12,375 人	11,194 人
うち宿泊	4,431 人	4,517 人	4,775 人	3,917 人
うち日帰り温浴	4,204 人	3,680 人	3,400 人	3,759 人
うち食堂	2,792 人	2,822 人	2,870 人	2,503 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実 績
①収入		1,054	-		-
②支出	修繕料	10,672	16,723	28,348	28,039
	柿崎マリンホテルハマナス 管理運営委託料	18,337	19,183	14,755	14,755
	再算定による 増減額	△10,799	-	-	-
	使用料及び賃借料	210	131	27	26
	施設設備工事費	-	930	-	-
	備品購入費	496	3,092	-	-
	負担金	212	212	212	212
	エネルギー価格高騰 補填金	1,600	-	-	-
	能登半島地震損害補 填金	1,647	-	-	-
	その他	108	227	84	83
合計		33,282	40,498	43,426	43,115
③公費投入額 (②-①)		32,229	40,498	43,426	43,115
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		2,543	3,321	3,509	3,852

決算書 (P278～P279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	79,231	68,619	71,771	63,181
	柿崎マリンホテルハマナス 管理運営委託料	16,670	17,439	13,414	13,414
	再算定による 増減額	△9,817	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	1,600	-	-	-
	令和 6 年度能登半島 地震損害補填金	1,647	-	-	-
	その他	3,431	14,652	15,300	15,187
②支出		99,410	100,473	99,884	95,195
差引 (①-②)		3,169	237	601	△3,413

※金額は全て税抜き

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・閑散期の予約状況を改善するため、格安プランを企画し、客室稼働率の向上に努めた。
- ・パート従業員の出勤の管理と職員の残業時間を圧縮し、人件費の削減に努めた。
- ・新聞、テレビ等のメディア掲載により、宿泊プランやレストランの新メニューを紹介した。

(6) 大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 大潟区九戸浜 241 番地 8
 設置年度 平成 9 年度
 構造 鉄骨造
 面積 延床 3,138 m²
 管理 指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	ネクストリゾート上越株式会社
指定の期間	令和 7 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日まで

決算書 (P278～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和7年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			計 画	実 績
利用者数	88,239 人	80,350 人	85,170 人	81,033 人
うち日帰り温浴	55,260 人	51,194 人	54,148 人	59,514 人
うちプール	5,917 人	6,037 人	7,125 人	3,134 人
うち共通	1,729 人	1,461 人	4,600 人	724 人
うちプール教室	3,377 人	3,089 人		2,007 人
うち各種健康教室	1,759 人	1,867 人		1,776 人
うち食堂等	20,197 人	16,702 人		13,878 人

※温水に伴う温浴施設の無料開放(7月31日～8月24日)の利用人数は8,358人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実 績
① 収入		847	-	-	-
②支出	修繕料	12, 887	4, 210	16, 054	16, 054
	鵜の浜人魚館管理運営委託料	50, 127	45, 565	43, 945	43, 945
	再算定による増減額	△537	-	-	-
	その他委託料	3, 731	3, 224	3, 834	3, 834
	使用料及び賃借料	841	841	841	841
	備品購入費	-	3, 080	-	-
	エネルギー価格高騰補填金	523	-	-	-
	令和 6 年能登半島地震損害補填金	342	-	-	-
	その他	88	137	-	-
合計		68, 539	57, 057	64, 674	64, 674
③公費投入額（②－①）		67, 692	57, 057	64, 674	64, 674
④利用者 1 人当たりの公費投入額（単位：円）		767	710	759	798

決算書 (P278～P279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	28,559	29,107	30,043	28,740
	鵜の浜人魚館 管理運営委託料	45,570	41,423	39,950	39,950
	再算定による 増減額	△488	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	523	-	-	-
	令和 6 年能登半島地 震損害補填金	342	-	-	-
	湧水対策無料開放補 填金	-	-	-	4,035
	その他	33,635	35,082	36,445	29,207
②支出		106,823	106,812	105,613	101,821
差引 (①-②)		1,806	△1,200	825	111

※金額は全て税抜き

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・冬期間を中心に、プールの一般利用者の利用時間を見直すなど、光熱水費を始めとする経費削減に努めた。

(7) 吉川スカイトピア遊ランド

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 吉川区坪野 1458 番地 2
 設置年度 平成 3 年度
 構造 鉄筋コンクリート造
 面積 延床 1,405 m²
 管理 指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	株式会社みなもとの郷
指定の期間	令和 7 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日まで

決算書 (P278～P279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
			計 画	実 績
利用者数	8,770 人	9,440 人	10,180 人	10,167 人
うち宿泊	1,685 人	1,450 人	1,700 人	1,158 人
うち日帰り	7,085 人	7,990 人	8,480 人	9,009 人

※湯水に伴う温浴施設の無料開放（7 月 31 日～8 月 24 日）の利用人数は 542 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	修繕料	1,686	879	2,432	2,431
	吉川スカイピア遊ランド 管理運営委託料	8,797	7,297	11,586	11,586
	再算定による 増減額	△2,277	-	-	-
	除雪業務委託料	-	880	1,254	1,254
	使用料及び賃借料	989	941	906	906
	工事請負費	624	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	679	-	-	-
	令和 6 年能登半島地 震補填金	21	-	-	-
	その他	148	215	-	-
	合計	12,944	10,212	16,178	16,177
③公費投入額（②－①）		12,944	10,212	16,178	16,177
④利用者 1 人当たりの 公費投入額（単位：円）		1,476	1,082	1,589	1,591

決算書 (P278～P279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	34,580	35,087	31,818	31,335
	吉川スカイピア遊ランド 管理運営委託料	8,797	7,297	10,533	10,533
	再算定による 増減額	346	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	679	-	-	-
	令和 6 年能登半島地 震補填金	21	-	-	-
	湧水対策無料開放補 填金	-	-	-	210
	その他	1,645	347	850	100
②支出		48,344	46,168	42,774	40,637
差引 (①-②)		△2,622	△3,437	427	1,541

※金額は令和 6 年度まで税込み、令和 7 年度から税抜き

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・パート職員や季節職員のシフトを見直したことにより、人件費の削減につなげた。

(8) 吉川ゆったりの郷

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 吉川区長峰 100 番地
 設置年度 平成 9 年度
 構造 鉄筋コンクリート造
 面積 延床 3,457 m²
 管理 指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	ネクストリゾート上越株式会社
指定の期間	令和 7 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				計 画	実 績
利用者数		111,958 人	124,245 人	130,030 人	138,482 人
	うち日帰り温浴	69,099 人	77,869 人	82,500 人	91,827 人
	うち食堂 (宴会含む)	39,863 人	43,468 人	44,400 人	44,122 人
	うちゲートボール場	2,513 人	2,412 人	2,450 人	2,144 人

※湧水に伴う温浴施設の無料開放 (7 月 31 日～8 月 24 日) の利用人数は 11,295 人

決算書 (P278～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和7年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
				予算現額	実績
①収入		-	-	-	-
②支出	修繕料	28,190	6,378	9,806	9,802
	吉川ゆったりの郷管理運営委託料	7,705	8,125	9,322	9,322
	再算定による増減額	△7,177	-	-	-
	その他委託料	-	198	-	-
	工事請負費	399	382	-	-
	備品購入費	-	2,684	-	-
	エネルギー価格高騰補填金	790	-	-	-
	令和6年能登半島地震補填金	1,410	-	-	-
	指定管理者営業補填金	6,953	-	-	-
	その他	81	118	173	172
合計		45,528	17,885	19,301	19,296
③公費投入額(②-①)		45,528	17,885	19,301	19,296
④利用者1人当たりの公費投入額(単位:円)		407	144	148	139

○指定管理者の収支状況

区 分		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	32,690	42,065	44,840	43,625
	吉川ゆったりの郷管理運営委託料	7,004	7,386	8,475	8,475
	再算定による増減額	△6,525	-	-	-
	エネルギー価格高騰補填金	790	-	-	-
	令和6年能登半島地震補填金	1,410	-	-	-
	指定管理者営業補填金	6,953	-	-	-
	渇水対策無料開放補填金	-	-	-	5,855
	その他	66,448	72,109	73,600	73,434
②支出		113,521	118,976	126,120	128,853
差引(①-②)		1,774	2,584	795	2,536

※金額は全て税抜き

決算書 (P278～P279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・利用状況を踏まえ、必要に応じてレストランの営業時間を短縮し、経費削減に努めた。また、月替わりの特別メニューや喫茶メニューをSNSに投稿し誘客するなど、売上増につなげた。
- ・地元音楽グループの定期公演やお笑い演芸などを開催し、誘客に努めた。

(9) 板倉保養センター

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 板倉区久々野 1624 番地 1

設置年度 平成 7 年度

構造 鉄骨造

面積 延床 1,426 m²

管理 指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	ネクストリゾート上越株式会社
指定の期間	令和 7 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日まで

・利用者数等

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
			計 画	実 績
利用者数	34,815 人	31,327 人	33,357 人	40,284 人
うち宿泊	1,008 人	1,167 人	1,614 人	1,109 人
うち日帰り温浴	22,357 人	19,601 人	20,562 人	28,308 人
うち食堂	9,491 人	8,548 人	9,184 人	8,941 人

※湯水に伴う温浴施設の無料開放（7 月 31 日～8 月 24 日）の利用人数は 8,386 人

・指定管理制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	修繕料	2,126	11,784	5,689	5,527
	板倉保養センター 管理運営委託料	17,172	14,630	13,406	13,406
	再算定による 増減額	△6,162	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	1,067	-	-	-
	令和 6 年能登半島 地震損害補填金	233	-	-	-
	その他	-	320	266	258
	合計	20,598	26,734	19,361	19,191
③公費投入額（②－①）		20,598	26,734	19,361	19,191
④利用者 1 人当たりの 公費投入額（単位：円）		592	853	580	476

決算書 (P278～P279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理者の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	48,108	51,507	60,211	51,188
	板倉保養センター 管理運営委託料	15,611	13,300	12,187	12,187
	再算定による 増減額	△1,218	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	1,067	-	-	-
	令和 6 年能登半島 地震損害補填金	233	-	-	-
	湧水対策無料開放補 填金	-	-	-	3,757
	その他	1,851	423	305	194
②支出		64,973	66,179	72,102	70,445
差引 (①-②)		1,897	△949	601	△3,119

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・令和 7 年度に実施した「湧水対策に伴う実施した温浴施設の無料開放」の利用者に対して、入館割引券を配布し、リピーターの確保に努めた。
- ・短時間のアルバイトを募集することのできるアプリを活用し、人手不足の解消と人件費の抑制を図った。

(10) ぬしんの里記念館

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 板倉区米増 27 番地 4
 設置年度 平成 17 年度
 構造 鉄筋コンクリート造
 面積 延床 1,359 m²
 管理 指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	特定非営利活動法人板倉まちづくり振興会
指定の期間	令和 7 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
			計 画	実 績
利用者数	9,175 人	10,485 人	9,000 人	8,944 人

決算書 (P278～P279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	修繕料	4,229	779	1,013	951
	ゑしんの里記念館 管理運営委託料	14,841	15,754	16,928	16,928
	再算定による 増減額	△962	-	-	-
	その他委託料	-	-	66	66
	使用料及び賃借料	63	63	64	63
	備品購入費	300	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	1,389	-	-	-
	合計	20,822	16,596	18,071	18,008
③公費投入額 (②-①)		20,822	16,596	18,071	18,008
④利用者 1 人当たりの 公費投入額(単位：円)		2,269	1,583	2,008	2,013

・指定管理者の収支状況

(税込み)

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	214	205	330	263
	ゑしんの里記念館 管理運営委託料	14,841	15,754	16,928	16,928
	再算定による 増減額	△962	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	1,389	-	-	-
	その他	3,757	2,373	2,530	3,539
②支出		20,195	17,435	19,788	19,081
差引 (①-②)		6	897	0	1,649

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・「やわやわマーケット板倉」や「音楽コンサート」など、施設の利用促進に資する様々な事業を開催し、来場者数の増加を図ったが、施設の冷房不具合の影響により、利用者数は令和 6 年度より減となった。
- ・スタッフのコスト意識や作業性の向上、省電力化による経費削減に取り組んだ。

決算書 (P278～P279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

(11) うみてらす名立

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 名立区名立大町 4280 番地 1

設置年度 平成 12 年度

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造

面積 延床 8,605 m²

管理 指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	株式会社 B J ・株式会社ゆめ企画名立
指定の期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
			計 画	実 績
利用者数	300,410 人	296,700 人	367,000 人	318,520 人
うち健康交流館「ゆらら」	104,064 人	100,565 人	110,000 人	109,533 人
うち交流促進施設「光鱗」	9,918 人	8,917 人	10,000 人	9,243 人

※渇水に伴う温浴施設の無料開放（7 月 31 日～8 月 24 日）の利用人数は 13,130 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				予算現額	実 績
① 収入		75	92	76	64
②支出	修繕料	13,193	8,626	13,017	13,016
	うみてらす名立 管理運営委託料	72,892	67,100	67,100	67,100
	再算定による 増減額	△1,598	-	-	-
	その他委託料	8,079	8,080	8,608	8,607
	使用料及び賃借料	144	122	180	114
	工事請負費	79,354	43,879	10,637	8,305
	備品購入費	1,955	2,189	357	356
	エネルギー価格高騰 補填金	1,064	-	-	-
	令和 6 年能登半島地 震損害補填金	1,905	-	-	-
	その他	336	1,085	457	346
合計		178,922	131,081	100,356	97,844
③公費投入額（②－①）		178,847	130,989	100,280	97,780
④利用者 1 人当たりの 公費投入額（単位：円）		595	441	273	307

決算書 (P 278～P 279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	431, 147	433, 575	461, 000	460, 743
	うみてらす名立管理 運営委託料	66, 265	61, 000	61, 000	61, 000
	再算定による 増減額	5, 265	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	1, 064	-	-	-
	令和 6 年能登半島地 震損害補填金	1, 905	-	-	-
	湧水対策無料開放補 填金	-	-	-	8, 131
	その他	18, 616	4, 216	2, 500	5, 334
②支出		514, 198	503, 982	523, 500	524, 017
差引 (①－②)		4, 799	△5, 191	1, 000	11, 191

※金額は全て税抜き

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・健康交流館「ゆらら」の入館受付に券売機を導入するなど、利用者の利便性向上と業務効率化につなげた。
- ・団体利用を促進するため、旅行会社の総会や商談会に参加し、昼食や買い物の立寄り先として売り込むなど、収益向上を図った。

○目標達成状況

11 施設の利用者数の合計は、759, 584 人となり、目標を達成できなかった。
(目標達成率：95.8%、目標達成：4 施設、目標未達成：7 施設)

○地域独自の予算事業 2, 669

- ・鵜の浜人魚館美化活動事業(大潟区)(41)
- ・いたくら里山彩花事業(板倉区)(2, 628)

【事業の成果】

- ・施設の老朽化が進む中において、適宜、修繕を実施するなど、受入環境を整備した。
- ・市と指定管理者との間で業務の報告・連絡・相談を密に行い、トラブル発生時の迅速な状況把握と対応につなげることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・公共施設等総合管理計画に基づき、施設の利用状況や維持管理コスト、老朽化の状況等を総合的に検証していく。
- ・人手不足が課題となっており、業務の効率化や外部委託、利用者参加型の仕組みづくりなどを検討していく必要がある。

決算書 (P278～P279)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光施設課(令和 7 年 度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 11,148

(単位：千円)

決算書 (P278～P281)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度所管は魅力創造課）
事業名	通年観光推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
32,977	31,779	12,690	822		4,489 (繰越金、諸収入)	13,778
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,198	317				881

【目的】

地域の歴史や文化を観光資源として磨き上げることにより、観光の活性化を図るとともに、持続可能な地域資源として後世に伝承する。

令和 7 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 7 年度目標

上越市通年観光計画に基づき、各事業を進める。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 通年観光計画関連委託料等 (31,513)

- 春日山駅から春日山城跡への観光客の誘導を強化するため、デザインを統一した観光案内サインの整備を行った。
- 春日山地域観光拠点施設に関し、運営体制の検討や収支計画の作成、整備効果等の検証を行った。
- 春日山城跡及び上杉謙信公をいかした観光コンテンツを造成するため、モニターツアー等を実施した。
- 春日山城跡の伐採木について、事業者への聞き取り等を通じて商品開発の可能性の検討を行った。
- 直江津屋台会館と海浜公園において民間活力による新たなにぎわいの創出や収益化のスキーム構築に向け、4 回の主催イベント、1 回のイベント誘致を行うとともに、日常的に飲食や物販の事業者が出店しやすい環境を整えた（2 か年業務の 2 年目）。
- 新たな観光資源の創出に向けて、高田城枋形門の整備に伴う課題の抽出や整理、再現方法の検討等を行い、再現可能性についての調査研究を行った（2 か年業務の 2 年目）。
- 浄興寺大門通りの魅力向上に向けて、沿道の住民等とともに歓喜橋の修景整備を行った。

(2) 鉄道遺産群独自認定制度検討委員会開催 (0)

鉄道遺産群の後世への保全・活用に資する制度の検討に向けて、鉄道遺産の保存や市民への継承、観光活用を担う関係団体と対話形式により意見交換を行った。

(3) その他普通旅費等 (266)

決算書 (P278～P281)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光推進課（令和 7 年度所管は魅力創造課）
事業名	通年観光推進事業		

○目標達成状況

上越市通年観光計画に基づく取組の推進に向け、春日山、直江津、高田の各地域において各種調査等を行った。

【事業の成果】

- ・春日山地域では、サイン整備により来訪者の利便性の向上につなげることができた。
- ・直江津地域における社会実験では、累計で約 13,000 人の来場や、延べ約 70 の事業者からの出店があり、新たなにぎわいの場と出店の機会が創出された。
- ・高田地域における枡形門再現可能性調査研究では、一定の要件を満たすことができれば、枡形門の再現は実現の可能性があることを確認した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

通年観光計画に登載している事業の実施にあたっては、引き続き関係者との協議や調整を図りながら、財源及び優先順位の検討により実施を判断する必要がある。

【執行残額について】

事業費節減：鉄道遺産群独自認定制度検討委員会の実施内容見直しに伴う執行残 317

そ の 他：当初見込みを下回ったこと等による執行残 881